



長岡京市公共施設等再編整備構想 2021

令和4年3月
京都府長岡京市



<目 次>

第1章 公共施設等再編の課題と取組みの必要性.....	1
1. 長岡京市の状況.....	1
2. 長岡京市の公共施設等の状況.....	2
第2章 公共施設等再編整備構想の概要.....	3
1. 目的.....	3
2. 計画の位置付け.....	3
3. 対象施設.....	4
4. 対象期間.....	4
第3章 公共施設等再編整備の基本的な考え方.....	5
第4章 公共施設等再編方針.....	8
1. 対象施設の分類.....	8
2. 施設情報.....	10
3. 施設の状態及び劣化状況.....	10
4. 施設の基本方向の検討.....	12
(1) 施設分類ごとの状況と課題.....	14
(2) 各施設の今後の再編に向けた検討の方向性.....	17
<公共施設>.....	17
①乙訓休日応急診療所.....	17
②保健センター.....	18
③老人福祉センター竹寿苑.....	19
④旧老人憩の家.....	20
⑤地域福祉センターきりしま苑.....	21
⑥長岡京市営浴場.....	22
⑦あったかふれあいセンター.....	23
⑧保育所.....	24
⑨放課後児童クラブ.....	26
⑩北開田児童館.....	27
⑪スポーツセンター.....	28
⑫西山公園体育館.....	29
⑬産業文化会館.....	30
⑭観光案内所(阪急長岡天神駅前).....	31
⑮学校.....	32
⑯埋蔵文化財調査センター.....	34

⑰多世代交流ふれあいセンター.....	35
⑱図書館.....	36
⑲中央公民館.....	37
⑳北開田会館.....	38
㉑中山修一記念館.....	39
㉒総合交流センター.....	40
㉓神足ふれあい町家.....	41
㉔小学校開放センター.....	42
㉕本庁舎・分庁舎.....	43
㉖南部地域防災センター.....	44
㉗消防分団詰所.....	44
㉘市営住宅.....	45
㉙都市公園施設.....	46
㉚駐輪・駐車場施設.....	47
<インフラ施設>.....	48
①神足ポンプ場.....	48
②今里雨水ポンプ場.....	48
③東ポンプ場.....	49
④東第2浄水場.....	49
⑤北ポンプ場.....	50
5. 跡地（未利用地）利活用方針.....	51
第5章 今後の検討スケジュール.....	55

第1章 公共施設等再編の課題と取組みの必要性

1. 長岡京市の状況

本市は、京都府南部にあり、北東は向日市と京都市、南西は大山崎町、大阪府三島郡島本町と隣接し、京都・大阪の中間に位置する高い利便性と自然の豊かさがもたらす快適性が調和する都市です。市域は総面積 19.17 km²で、その約 4 割を占める西山を除く平坦部のほとんどは市街化区域であり、中心部を住宅地や商業地、東部は先端的な電気・精密機械系の企業が集積する工業地域となっています。

また、市内に JR 長岡京駅と阪急電鉄長岡天神駅及び西山天王山駅が位置し、京都まで 12 分、大阪まで 30 分でアクセスでき、市域のどこからも自転車やバスで短時間で駅に行くことができます。本市南西部に位置する阪急西山天王山駅は京都縦貫自動車道の長岡京 IC に併設された高速バス停留所に接続しており、京都府北部はもちろん日本全国へのアクセス拠点となっています。

本市の人口は平成 23 年に 8 万人に達した後も微増を続け、令和 3 年 4 月 1 日現在で 81,073 人となりました。人口密度 4,229 人/km²（令和 3 年(2021 年)4 月 1 日現在）は全国で 89 番目にまで達し、高密度の土地利用となっていますが、人口減少が都市地域にもおよぶなかであって、本市でも令和 3 年をピークに減少に転じ、これまでの人口の微増から横ばい・減少局面に入ったものと考えられます。



【図 人口の推移】

2. 長岡京市の公共施設等の状況

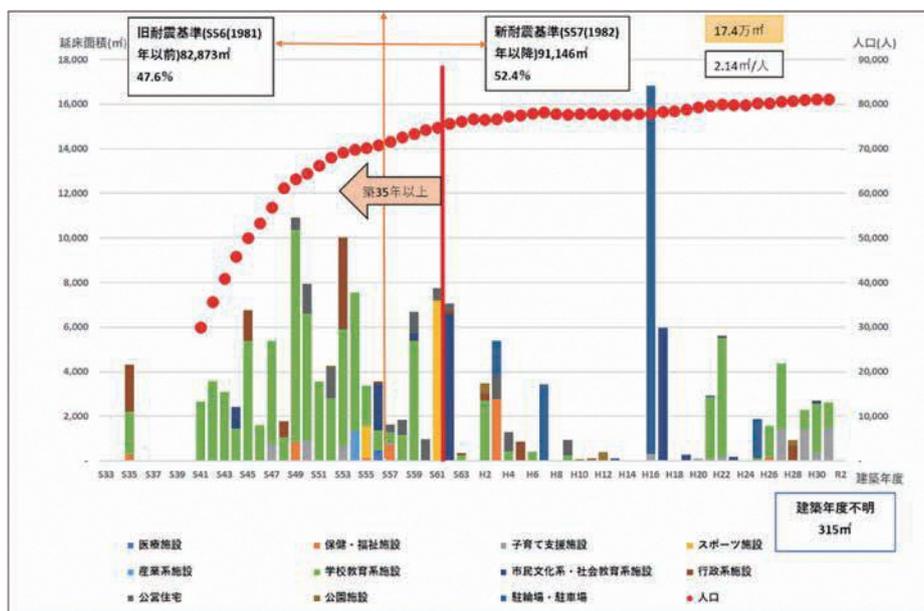
本市における公共施設については、建物は総延床面積で約 17.4 万㎡、敷地面積としては約 50.9 万㎡を保有しています。(令和 3 年(2021 年)度末)。市民一人当たりの延床面積は 2.14 ㎡となっており、全国平均の 3.22 ㎡※を下回っています。

※ 公共施設及びインフラ資産の将来の更新費用の比較分析に関する調査結果(平成 24 年 3 月総務省)

公共施設の多くは、人口が急増した昭和 40 年代から昭和 50 年代にかけて整備されており、大規模改修を行う時期(耐用年数の半期)とされている 35 年を経過した建物が、総延床面積全体の約 60%を占めています。また、今後 20 年で建設後 35 年を経過する建物は、全体の約 88%に達し、これからの更新や大規模修繕に膨大な費用が必要となることから地方債や基金等を含めた財源の確保が大きな課題となっています。

また、「長岡京市公共施設等総合管理計画(令和 4 年 3 月改定)*」によると、築 35 年で大規模改修、築 70 年で建替えを想定して令和 4 年(2022 年)度から今後 40 年間の更新経費を試算した結果、公共施設で約 672 億円が必要となり、更新時期が重なる時期は最大で年間約 38.6 億円が必要となることが分かりました。また、インフラ施設では約 689 億円が必要となります。

ただし、日常点検等で不具合箇所の早期発見や早期修繕を行うことにより、更新時期到来後も施設を存続させることで、重なった更新時期をずらすことができ、単年度に突出した費用を見込むことなく、費用の平準化を図ることができます。



【図】 人口の推移と年度別公共施設整備状況

*長岡京市公共施設等総合管理計画＝市が管理する公共施設等(インフラ施設を含む)の中長期的な管理計画の策定にあたって、市の公共施設等の全体の今後の管理方針、及び建物施設とインフラ施設のそれぞれの今後の取組みの方向を示すもの。

第2章 公共施設等再編整備構想の概要

1. 目的

「長岡京市公共施設等再編整備構想」は、限られた財源の中で、社会情勢や市民ニーズの変化に対応すると同時に、総合的・長期的視点から、公共施設等について経営戦略的に管理・活用し、市民サービスの質の更なる向上を推進することを目的に策定します。

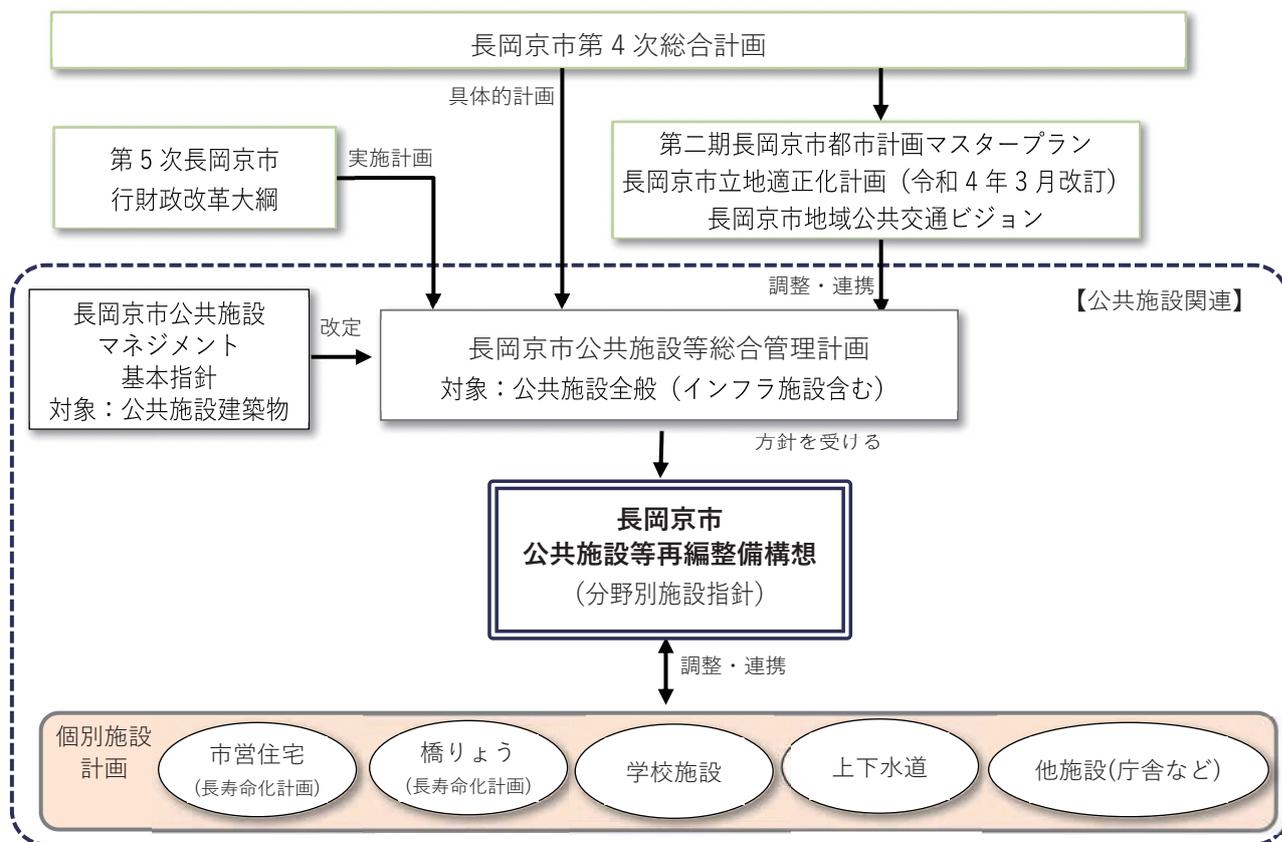
2. 計画の位置付け

本市では、これまで公共施設に関する計画として、「長岡京市公共施設マネジメント基本指針」の改定版となり、今後の本市における公共施設（インフラ施設を含む）の方向性を示す「長岡京市公共施設等総合管理計画」を平成27年(2015年)度に策定しています。

本構想は、「長岡京市公共施設等総合管理計画」の方針を受けて、今後の公共施設の再編整備に向けたあり方を示すとともに、用途別の施設の方向性について定めるもので、平成29年(2017年)度に「長岡京市公共施設等再編整備構想2017」を策定しました。

その後、令和3年(2021年)度に「長岡京市公共施設等総合管理計画」が改定されたことや令和2年(2020年)度までに「個別施設計画*」が策定されたことを受けて、本構想はこれらを統括する役目も担うことから、「長岡京市公共施設等総合管理計画」の改定内容の反映や、「個別施設計画」の内容を盛り込むことを目的として「長岡京市公共施設等再編整備構想2017」を改定します。

*個別施設計画＝公共施設等総合管理計画に基づき、各公共施設の個別具体の対応方針を定めた計画として、点検・診断によって得られた施設の状態や維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定めるもの。令和2年(2020年)度までに策定。



【図 公共施設等再編整備構想と他計画の関係】

3. 対象施設

本市が所有する全公共施設（建築物）及びインフラ施設に付随する建築物を対象とします。

4. 対象期間

本構想の対象期間は、平成30年（2018年）度から令和14年（2032年）度までの15年間とします。

ただし、社会経済情勢の変化や、総合計画などの上位計画及び関連計画の策定・改定などを受けて、計画の進捗状況や必要性を検証した上で、適宜見直しを行うこととします。

第3章 公共施設等再編整備の基本的な考え方

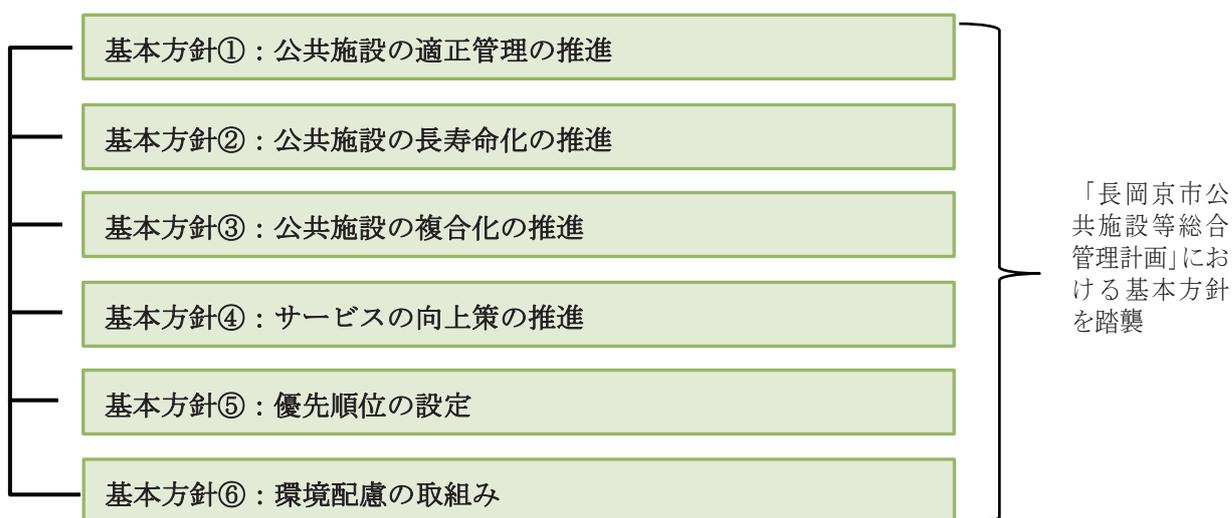
公共施設等の再編整備にあたっては、市民のニーズに応え、快適な市民生活を維持するため、「施設の持つ機能を生かす」ことを基本とします。

また、人口構造や市民ニーズ等の社会状況が変化する中で、人口減少や少子高齢化に伴う歳入減少と扶助費等の歳出増加に対応するための財源確保が課題となっていることから、長寿命化対策による費用削減や中長期的なサービス向上に向けた施設の複合化・民営化も視野に入れて検討します。

本市では、今後の公共施設の方向性を示した「長岡京市公共施設等総合管理計画」を策定しており、令和22年(2040年)度までを計画期間とし、公共施設の総合管理方針を『機能を維持し、長寿命化を推進することで、総費用の削減を目指す』と定め、この方針を実現するために以下の基本方針を設定しています。

本構想においても、「長岡京市公共施設等総合管理計画」で定めた方針を踏襲し、市民が安心・快適に利用できる公共施設の再編整備を進めます。

《「長岡京市公共施設等再編整備構想 2021」における基本方針》



《参考：「長岡京市公共施設等総合管理計画」における基本方針》

基本方針①：公共施設の適正管理の推進

- ・社会状況の変化に対してスピード感を持って対応することで、市民が必要な時期に必要なサービスを楽しむことができるよう、受益者負担の適正化を含めた公共施設のあり方（個々の施設の活用等）を検討します。併せて、総体的に公共施設の望ましい方向性を検証していきます。
- ・人口減少・少子高齢化時代に備え、医療・福祉・子育て支援・商業施設や住居等がまとまって立地し、徒歩や公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできる、「歩いて暮らせるまちづくり」・「より利便性の高い生活を支える機能づくり」を目指し、地理的な特性も踏まえながら公共施設を適正に配置します。
- ・公共施設再編の結果、発生する跡地等の公有財産については、財源確保の手段として適切に評価し、貸付や売却なども含めて市民にとってより有効な利活用を検討します。

基本方針②：公共施設の長寿命化の推進

- ・日々の日常点検（早期発見、早期修繕につながる）や定期点検のほか、長寿命化のための総合的な点検実施により劣化状況を把握し、既存施設を低コストで長く使うように努めます。また、効果的な維持管理の手法の一つとして、包括管理委託についても導入に向け検討を進めます。
- ・新しく施設を整備する場合には、ライフサイクルコストを考慮した計画的な保全・修繕を進めることとし、施設の長寿命化を推進します。
- ・公共施設の多くは、災害時に避難所や応急対策の活動拠点となるため、機能確保や安全確保の観点から、必要な公共施設において耐震化を計画的に実施します。

基本方針③：公共施設の複合化の推進

- ・コスト削減の手段として、利用度の低下した既存施設等の再編、転用、除却等により、市の公共施設全体の効率化を図ります。特に、複合化によって、市民がより利用し易くなり、サービスの向上が期待できる場合には、これを推進します。
- ・公共施設同士の複合施設、民間施設との複合計画等については、PRE等による建設、維持管理、資金調達等を含めて実現例を中心に検討し導入を進めます。

基本方針④：サービスの向上策の推進

- ・施設利用における市民の評価等を把握し、サービスの改善等により質的向上を図ることで、市民満足度の更なる向上を目指します。
- ・施設の新設、改修時においては、誰もが安全、安心して円滑かつ快適に利用できるようにユニバーサルデザイン化を図ります。
- ・施設の管理運営にあたっては、「新しい公共」の視点を考慮し、市民の力、民間事業者の力の活用を進め、安全の確保と地域事情に配慮しながら、行政主体で行う方式からの転換を目指します。
- ・市、市民、民間、他の公共団体の保有する土地、建物の資源の利活用（使いこなし）を進め、市内にすべての施設を配置する「フルセット方式」を見直します。
- ・官民連携及び広域連携によりその脱却を図り、市民から必要とされるサービス提供の「場の創出」につながる方法を継続して研究し、その活用を図ります。

基本方針⑤：優先順位の設定

- ・限られた財源の中で、需要と供給のバランスを保ちつつ施設の更新を図るために、公共施設検討の中で優先順位を定めます。
- ・点検・診断等の結果、不具合が判明し危険性が認められた場合は、危険度合いに応じて優先的に応急対応や修繕等を実施し安全確保を図ります。
- ・なお、一旦決まった順位は、最終決定ではなく、今後の社会状況の変化に柔軟に対応し、必要に応じて見直します。

基本方針⑥：環境配慮の取組み

- ・公共建築物の新設・改修時においては、長岡京市環境基本計画及び長岡京市役所地球温暖化防止実行計画に掲げる環境配慮事項にも沿うように整備を進めて行くこととし、断熱性の向上のみならず、エネルギー消費設備の最適化、再エネの導入等にも継続して取り組みます。
- ・新たに施設を整備するときは、CASBEE（キャスビー：建築環境総合性能評価システム）やZEB（ゼブ：ゼロ・エネルギー・ビルディング）など環境性能に関する評価を持つ指標を意識するほか、雨水や井戸水の利用、また森林資源循環に貢献する木材利用の促進など総合的な環境性能に配慮した整備の検討を行います。

第4章 公共施設等再編方針

1. 対象施設の分類

対象施設の用途別分類は以下のとおりです。

【表 用途別の施設内訳（令和4年3月31日時点）】

番号	区分	施設内訳
1	医療施設	・乙訓休日応急診療所
2	保健・福祉施設	・保健センター
		・老人福祉センター竹寿苑
		・旧老人憩の家
		・地域福祉センターきりしま苑
		・長岡京市営浴場
3	子育て支援施設	・あったかふれあいセンター
		・保育所 × 4
4	スポーツ施設	・放課後児童クラブ施設 × 12
		・北開田児童館
5	産業系施設	・スポーツセンター
		・西山公園体育館
6	学校教育系施設	・産業文化会館
		・観光案内所（阪急長岡天神駅前）
7	市民文化系・社会教育系施設	・小学校 × 10
		・中学校 × 4
		・埋蔵文化財調査センター
		・多世代交流ふれあいセンター
		・図書館
		・中央公民館
		・北開田会館
		・中山修一記念館
		・総合交流センター
		・神足ふれあい町家
8	行政系施設	・小学校開放センター × 8
		・本庁舎 ・分庁舎1 ・分庁舎2 ・分庁舎3
		・南部地域防災センター
9	公営住宅	・消防分団詰所 （第1分団詰所兼車庫、第2分団詰所兼車庫、 第3分団詰所・車庫兼防災倉庫、 第4分団詰所兼車庫、第5分団車庫）
		・市営馬場住宅
		・市営野添住宅 × 4
		・市営今里住宅
10	公園施設	・市営陶器町住宅 × 3
		・市営深田住宅
11	駐車場、駐輪場	・市営神足住宅 × 4
		・都市公園施設 × 4
12	インフラ施設 （供給処理施設）	・駐車場、駐輪場 × 8
		・神足ポンプ場
		・今里雨水ポンプ場
		・東ポンプ場
		・東第2浄水場
		・北ポンプ場

施設分類	施設名
医療施設	1 乙訓休日応急診療所
保健福祉施設	2 保健センター
	3 老人福祉センター竹寿苑
	4 旧老人憩の家
	5 地域福祉センター きりしま苑
	6 長岡京市営浴場
	7 あったかふれあいセンター
	8 開田保育所
子育て支援施設	9 滝ノ町保育所
	10 新田保育所
	11 深田保育所
	12 神足小学校放課後児童クラブ施設
	13 長法寺小学校放課後児童クラブ施設
	14 長岡第三小学校放課後児童クラブ施設
	15 長岡第四小学校放課後児童クラブ施設
	16 長岡第五小学校放課後児童クラブ施設 A・B
	17 長岡第六小学校放課後児童クラブ施設
	18 長岡第七小学校放課後児童クラブ施設
	19 長岡第八小学校放課後児童クラブ施設 A・B
	20 長岡第九小学校放課後児童クラブ施設
	21 長岡第十小学校放課後児童クラブ施設
	22 北開田児童館
スポーツ施設	23 スポーツセンター
	24 西山公園体育館
産業系施設	25 産業文化会館
	26 観光案内所(阪急長岡天神駅前)
学校教育系施設	27 神足小学校
	28 長法寺小学校
	29 長岡第三小学校
	30 長岡第四小学校
	31 長岡第五小学校
	32 長岡第六小学校
	33 長岡第七小学校
	34 長岡第八小学校
	35 長岡第九小学校
	36 長岡第十小学校
市民文化・社会教育系施設	37 長岡中学校
	38 長岡第二中学校
	39 長岡第三中学校
	40 長岡第四中学校
	41 埋蔵文化財調査センター
	42 多世代交流ふれあいセンター
	43 図書館
	44 中央公民館
	45 北開田会館
	46 中山修一記念館
	47 総合交流センター(バンビオ)
	48 神足ふれあい町家
	49 長法寺小学校開放センター
	50 長岡第三小学校開放センター
	51 長岡第四小学校開放センター
	52 長岡第五小学校開放センター
	53 長岡第七小学校開放センター
	54 長岡第八小学校開放センター
	55 長岡第九小学校開放センター
	56 長岡第十小学校開放センター

施設分類	施設名
行政系施設	57 本庁舎
	58 分庁舎1
	59 分庁舎2
	60 分庁舎3
	61 南部地域防災センター
	62 第1分団詰所兼車庫
	63 第2分団詰所兼車庫
	64 第3分団詰所・車庫兼防災倉庫
	65 第4分団詰所兼車庫
	66 第5分団車庫
公営住宅	67 市営馬場住宅
	68 市営陶器町住宅北・中・南棟
	69 市営野添住宅A・B・C・D棟
	70 市営深田住宅
	71 市営今里住宅
	72 市営神足住宅A・B・C・D棟
公園施設	73 長岡公園
	74 勝竜寺城公園
	75 西山公園
	76 西代里山公園
駐輪・駐車場施設	77 長岡天神駅東自転車駐車場
	78 長岡京駅西自転車駐車場
	79 長岡京駅東自転車駐車場
	80 長岡京駅西駐車場
	81 西山天王山駅東自転車駐車場
	82 西山天王山駅中央自転車駐車場
	83 西山天王山駅西自転車駐車場
	84 西山天王山駅東駐車場
	85 神足ポンプ場
	86 今里雨水ポンプ場
供給処理施設	87 東ポンプ場
	88 東第2浄水場
	89 北ポンプ場



【図 公共施設位置図】

2. 施設情報

対象施設の概要及び今後の方向性については以下のとおりです。

分類	施設名	建設年度	築年数	敷地面積	延床面積	階数	方向性	
医療施設	乙訓休日応急診療所	1981	S56	496㎡	468㎡	3	機能移転	
保健・福祉施設	保健センター	1982	S57	1,119㎡	712㎡	3	機能移転	
	老人福祉センター竹寿苑	1974	S49	2,564㎡	849㎡	2	機能移転	
	旧老人憩の家	1980	S55	566㎡	145㎡	1	機能移転	
	地域福祉センターきりしま苑	1991	H3	2,074㎡	2,766㎡	3(地下1)	機能維持	
	長岡京市宮浴場	1960	S35	343㎡	275㎡	2	機能維持	
	あったかふれあいセンター	2014	H26	7	365㎡	161㎡	2	機能維持
子育て支援施設	開田保育所	2015	H27	6	2,266㎡	1,268㎡	3(うち1.2階)	機能維持
	滝ノ町保育所	1972	S47	49	1,451㎡	753㎡	2	機能維持
	新田保育所	2019	H31	2	2,420㎡	1,476㎡	3(うち1.2階)	機能維持
	深田保育所	1975	S50	46	1,622㎡	895㎡	2	機能維持
	神足小学校放課後児童クラブ施設	2015	H27	6	-	171㎡	3(うち1階)	機能維持
	長法寺小学校放課後児童クラブ施設	2009	H21	12	-	104㎡	1	機能維持
	長岡第三小学校放課後児童クラブ施設	2018	H30	3	-	383㎡	1	機能維持
	長岡第四小学校放課後児童クラブ施設	1982	S57	39	-	91㎡	1	機能維持
	長岡第五小学校放課後児童クラブ施設A	2017	H29	4	-	808㎡	2(うち2階)	機能維持
	長岡第五小学校放課後児童クラブ施設B	2017	H29	4	-	-	2(うち1階)	機能維持
	長岡第六小学校放課後児童クラブ施設	2017	H29	4	-	294㎡	1	機能維持
	長岡第七小学校放課後児童クラブ施設	2010	H22	11	-	208㎡	1	機能維持
	長岡第八小学校放課後児童クラブ施設A	2004	H16	17	-	144㎡	1	機能維持
	長岡第八小学校放課後児童クラブ施設B	2008	H20	13	-	119㎡	1	機能維持
	長岡第九小学校放課後児童クラブ施設	2004	H16	17	-	178㎡	1	機能維持
長岡第十小学校放課後児童クラブ施設	2017	H29	4	-	337㎡	1	機能維持	
北開田児童館	1978	S53	43	594㎡	684㎡	3	機能維持	
スポーツ施設	スポーツセンター	1980	S55	21,144㎡	1,426㎡	1	機能維持	
	西山公園体育館	1986	S61	35	23,609㎡	7,184㎡	2	機能維持
産業系施設	産業文化会館	1979	S54	42	1,175㎡	1,358㎡	3	機能移転
学校教育系施設	観光案内所	1992	H4	29	42㎡	42㎡	2	機能維持
	神足小学校(全体)	1973~2015	S48~H27	48	17,990㎡	7,130㎡	3	機能維持
	長法寺小学校(全体)	1969~2008	S44~H20	52	13,406㎡	5,011㎡	4	機能維持
	長岡第三小学校(全体)	1966~1970	S41~S45	55	18,201㎡	5,355㎡	4	建替
	長岡第四小学校(全体)	1967~1968	S42~S43	54	16,380㎡	5,079㎡	3	建替
	長岡第五小学校(全体)	1970~2014	S45~H26	51	19,270㎡	7,275㎡	3	機能維持
	長岡第六小学校(全体)	1972~2019	S47~H31	49	15,342㎡	6,021㎡	4	機能維持
	長岡第七小学校(全体)	2010	H22	11	15,203㎡	5,307㎡	3	機能維持
	長岡第八小学校(全体)	1974~2018	S49~H30	47	20,170㎡	6,496㎡	3	機能維持
	長岡第九小学校(全体)	1978~1982	S53~S57	43	19,099㎡	5,408㎡	3	機能維持
	長岡第十小学校(全体)	1979~2017	S54~H29	42	19,002㎡	5,177㎡	3	機能維持
	長岡中学校(全体)	1960~2019	S35~H31	61	17,885㎡	9,294㎡	4	機能維持
	長岡第二中学校(全体)	1972~2017	S47~H29	49	19,198㎡	8,125㎡	4	機能維持
	長岡第三中学校(全体)	1975~2018	S50~H30	46	26,456㎡	6,986㎡	4	機能維持
	長岡第四中学校(全体)	1984~2018	S59~H30	37	28,554㎡	6,452㎡	3	機能維持
市民文化系・社会教育系施設	埋蔵文化財調査センター(全体)	1969~1984	S44~S59	52	1,727㎡	1,168㎡	2	機能維持
	多世代交流ふれあいセンター	1981	S56	40	4,428㎡	2,013㎡	2	機能維持
	図書館	1987	S62	34	11,174㎡	2,801㎡	3	機能維持
	中央公民館	1987	S62	34	3,471㎡	3,471㎡	3(地下1)	機能維持
	北開田会館	1987	S62	34	583㎡	341㎡	2	機能維持
	中山修一記念館	不明	不明	-	451㎡	113㎡	1	機能維持
	総合交流センター	2005	H17	16	2,645㎡	5,969㎡	7(地下1)	機能維持
	神足ふれあい町家	不明	不明	-	370㎡	203㎡	1	機能維持
	長法寺小学校開放センター	2014	H26	7	-	60㎡	-	機能維持
	長岡第三小学校開放センター	1984	S59	37	-	94㎡	-	機能維持
	長岡第四小学校開放センター	2007	H19	14	-	93㎡	1	建替
	長岡第五小学校開放センター	2011	H23	10	-	189㎡	-	機能維持
	長岡第七小学校開放センター	2010	H22	11	-	66㎡	-	機能維持
	長岡第八小学校開放センター	2009	H21	12	-	60㎡	-	機能維持
	長岡第九小学校開放センター	1979	S54	42	-	90㎡	1	機能移転
長岡第十小学校開放センター	2017	H29	4	-	111㎡	-	機能維持	

分類	施設名	建設年度	築年数	敷地面積	延床面積	階数	方向性		
行政系施設	本庁舎（全体）	1960～1978	S35～S53	61	5,403㎡	7,610㎡	4	建替	
	分庁舎1（全体）	1973～1993	S48～H5	48	2,820㎡	861㎡	2	機能維持	
	分庁舎2	1990	H2	31		316㎡	2	機能維持	
	分庁舎3	1993	H5	28	1,247㎡	720㎡	2	取壊し	
	南部地域防災センター	2016	H28	5	410㎡	684㎡	3	機能維持	
	第1分団詰所兼車庫	1999	H11	22	1,456㎡	112㎡	2	機能維持	
	第2分団詰所兼車庫	1981	S56	40	62㎡	78㎡	2	機能維持	
	第3分団詰所・車庫兼防災倉庫	1987	S62	34	248㎡	167㎡	2	機能維持	
	第4分団詰所兼車庫	1988	S63	33	85㎡	108㎡	2	機能維持	
第5分団車庫	2010	H22	11	58㎡	33㎡	1	機能維持		
公営住宅	馬場住宅	1974	S49	47	662㎡	560㎡	4	機能維持	
	陶器町住宅北棟	1982	S57	39	357㎡	313㎡	2	機能維持	
	陶器町住宅中棟	1983	S58	38	410㎡	340㎡	2	機能維持	
	陶器町住宅南棟	1983	S58	38	486㎡	313㎡	2	機能維持	
	野添住宅A棟	1977	S52	44	1,778㎡	1,366㎡	4	機能維持	
	野添住宅B棟	1985	S60	36	1,298㎡	959㎡	4	機能維持	
	野添住宅C棟	1984	S59	37	1,257㎡	959㎡	4	機能維持	
	野添住宅D棟	1986	S61	35	870㎡	560㎡	3	機能維持	
	深田住宅	1975	S50	46	2,269㎡	1,340㎡	2	機能維持	
	今里住宅	1987	S62	34	556㎡	276㎡	2	機能維持	
	神足住宅A棟	1991	H3	30	341㎡	448㎡	3	機能維持	
	神足住宅B棟	1991	H3	30	886㎡	597㎡	4	機能維持	
	神足住宅C棟	1992	H4	29		863㎡	4	機能維持	
	神足住宅D棟	1997	H9	24	802㎡	696㎡	3	機能維持	
公園施設	長岡公園（旧管理棟）	1977	S52	44	39,572㎡	100㎡	2	取壊し	
	長岡公園（事務所兼休憩所）	1998	H10	23		91㎡	1	機能維持	
	勝竜寺城公園（管理棟）	1990	H2	31	13,587㎡	462㎡	2(地下1)	機能維持	
	西山公園（グリーンハウス）	2000	H12	21	43,098㎡	377㎡	2	機能維持	
	西代里山公園（管理棟）	2016	H28	5	26,064㎡	260㎡	1	機能維持	
駐輪・駐車場施設	長岡天神駅東自転車駐車場	1991	H3	30	2,111㎡	1,573㎡	2	機能維持	
	長岡京駅西自転車駐車場	2004	H16	17	1,298㎡	2,973㎡	3(地下1)	機能維持	
	長岡京駅東自転車駐車場	1995	H7	26	1,778㎡	3,444㎡	3(地下1)	機能維持	
	長岡京駅西駐車場	2004	H16	17	5,930㎡	13,546㎡	5	機能維持	
	西山天王山駅東自転車駐車場	2013	H25	8	418㎡	672㎡	2	機能維持	
	西山天王山駅中央自転車駐車場	2013	H25	8	318㎡	187㎡	2	機能維持	
	西山天王山駅西自転車駐車場	2013	H25	8	761㎡	892㎡	2	機能維持	
	西山天王山駅東駐車場	2013	H25	8	1,831㎡	-	屋外	機能維持	
	神足ポンプ場	1972	S47	49	227㎡	30㎡	1	建替	
インフラ施設	供給処理施設	今里雨水ポンプ場	2006	H18	15	1,178㎡	431㎡	2(地下1)	機能維持
		東ポンプ場（全体）	1971～1983	S46～S58	50	8,640㎡	2,564㎡	2(地下1)	取壊し
		東第2浄水場（全体）	1982～2018	S57～H30	39	6,942㎡	2,501㎡	2(地下1)	機能維持
		北ポンプ場（全体）	2000～2017	H12～H29	21	4,277㎡	562㎡	1(地下1)	機能維持

※1：学校教育系施設は200㎡以上の校舎を対象とする。

※2：放課後児童クラブ施設、小学校開放センターは学校敷地を使用しているため敷地面積を一とする

※3：施設名欄で（全体）と表示のある施設のうち、築年数及び階数についてはそのうちもっとも古い施設の値とする。

※4：小学校開放センターの中で、学校施設を使用している施設については階数を一とする

※5：方向性については、機能維持、機能移転、建替、取壊しの4つに分類する。詳細については、第4章4（2）の各施設を参照。

機能維持・・・存続する施設

機能移転・・・現在の場所から別の場所へ移転する施設

建替・・・現在の場所で建替えを行う施設

取壊し・・・取壊す施設

3. 施設の状態及び劣化状況

対象施設の構造、耐震及び劣化状況調査の結果は以下のとおりです。

分類	施設名	構造	耐震		劣化状況調査				
			基準	診断	屋根・	外壁	内部仕	電気設	機械設
					屋上		上	備	備
医療施設	乙訓休日応急診療所	RC	新	-	A	A	A	B	B
保健・福祉施設	保健センター	RC	新	-	B	A	A	B	B
	老人福祉センター竹寿苑	RC	旧	未	B	C	C	C	C
	旧老人憩の家	W	旧	未	C	C	C	C	C
	地域福祉センターきりしま苑	RC	新	-	C	C	B	B	D
	長岡京市営浴場	RC	旧	未	B	B	C	B	D
	あったかふれあいセンター	W	新	-	B	A	A	A	A
子育て支援施設	開田保育所	RC	新	-	A	A	A	A	A
	滝ノ町保育所	RC	旧	済	C	C	C	C	C
	新田保育所	RC	新	-	A	A	A	A	A
	深田保育所	RC	旧	済	C	C	C	C	C
	神足小学校放課後児童クラブ施設	RC	新	-	-	A	A	A	A
	長法寺小学校放課後児童クラブ施設	S	新	-	B	B	B	A	A
	長岡第三小学校放課後児童クラブ施設	S	新	-	A	A	A	A	A
	長岡第四小学校放課後児童クラブ施設	S	新	-	B	C	B	B	B
	長岡第五小学校放課後児童クラブ施設A	S	新	-	A	A	A	A	A
	長岡第五小学校放課後児童クラブ施設B	S	新	-	A	A	A	A	A
	長岡第六小学校放課後児童クラブ施設	S	新	-	A	A	A	A	A
	長岡第七小学校放課後児童クラブ施設	S	新	-	A	A	B	A	A
	長岡第八小学校放課後児童クラブ施設A	S	新	-	B	B	B	A	A
	長岡第八小学校放課後児童クラブ施設B	S	新	-	B	B	B	A	A
	長岡第九小学校放課後児童クラブ施設	S	新	-	B	B	B	A	A
	長岡第十小学校放課後児童クラブ施設	S	新	-	A	A	A	A	A
北開田児童館	RC	旧	済	C	C	C	B	C	
スポーツ施設	スポーツセンター	S	旧	済	C	C	B	C	C
	西山公園体育館	RC	新	-	A	B	A	B	A
産業系施設	産業文化会館	RC	旧	済	C	C	C	C	C
	観光案内所	S	新	-	A	B	B	B	B
学校教育系施設	神足小学校（全体）	RC	旧	済	A	A	A	A	B
	長法寺小学校（全体）	RC	旧	済	B	B	B	B	B
	長岡第三小学校（全体）	RC	旧	済	D	C	C	C	C
	長岡第四小学校（全体）	RC	旧	済	A	C	C	C	C
	長岡第五小学校（全体）	RC	旧	済	A	A	C	C	C
	長岡第六小学校（全体）	RC	旧	済	A	A	C	C	B
	長岡第七小学校（全体）	RC	新	-	A	A	A	A	A
	長岡第八小学校（全体）	RC	旧	済	A	A	C	C	B
	長岡第九小学校（全体）	RC	旧	済	A	A	B	C	B
	長岡第十小学校（全体）	RC	旧	済	A	A	B	B	B
	長岡中学校（全体）	RC	旧	済	A	B	C	C	C
	長岡第二中学校（全体）	RC	旧	済	A	A	C	C	B
	長岡第三中学校（全体）	RC	旧	済	A	A	B	B	B
	長岡第四中学校（全体）	RC	新	-	C	B	B	B	B
市民文化系・社会教育系施設	埋蔵文化財調査センター（全体）	RC	旧	未	C	C	C	B	B
	多世代交流ふれあいセンター	RC	新	-	C	B	C	C	C
	図書館	RC	新	-	A	B	B	B	B
	中央公民館	RC	新	-	B	B	B	B	B
	北開田会館	RC	新	-	B	B	B	B	B
	中山修一記念館	W	旧	未	A	B	A	A	A
	総合交流センター	RC・S	新	-	-	-	-	-	-
	神足ふれあい町家	W	旧	未	B	B	B	A	A
	長法寺小学校開放センター	-	-	-	-	-	-	-	-
	長岡第三小学校開放センター	S	新	-	C	C	C	C	C
	長岡第四小学校開放センター	S	新	-	A	A	A	A	A
	長岡第五小学校開放センター	S	新	-	A	A	A	A	A
	長岡第七小学校開放センター	-	-	-	-	-	-	-	-
	長岡第八小学校開放センター	-	-	-	-	-	-	-	-
	長岡第九小学校開放センター	S	旧	済	B	B	B	B	B
	長岡第十小学校開放センター	S	新	-	A	A	A	A	A

分類	施設名	構造	耐震		劣化状況調査				
			基準	診断	屋根・	外壁	内部仕	電気設	機械設
					屋上		上	備	備
行政系施設	本庁舎（南棟）	RC	旧	済	C	D	C	B	B
	本庁舎（東棟）	RC	旧	済	C	D	C	B	B
	本庁舎（北棟）	RC	旧	済	C	D	C	B	B
	分庁舎1（事務所棟）	S	新	-	B	B	B	B	B
	分庁舎1（作業員棟）	RC	旧	未	C	C	C	B	B
	分庁舎2	S	新	-	B	C	C	B	B
	分庁舎3	S	新	-	B	C	C	B	B
	南部地域防災センター	RC	新	-	A	A	A	A	A
	第1分団詰所兼車庫	S	新	-	B	A	B	B	B
	第2分団詰所兼車庫	S	旧	未	B	B	B	B	B
	第3分団詰所・車庫兼防災倉庫	S	新	-	A	B	B	B	B
第4分団詰所兼車庫	S	新	-	B	B	B	B	B	
第5分団車庫	S	新	-	A	A	A	A	A	
公営住宅	馬場住宅	RC	旧	済	A	A	B	C	B
	陶器町住宅北棟	RC	新	-	A	A	B	B	B
	陶器町住宅中棟	RC	新	-	A	A	B	B	B
	陶器町住宅南棟	RC	新	-	A	A	B	B	B
	野添住宅A棟	RC	旧	済	A	A	B	B	B
	野添住宅B棟	RC	新	-	A	A	B	B	B
	野添住宅C棟	RC	新	-	A	A	B	B	B
	野添住宅D棟	RC	新	-	A	A	B	B	B
	深田住宅	RC	旧	済	B	C	C	C	C
	今里住宅	RC	新	-	A	A	B	B	B
	神足住宅A棟	RC	新	-	C	C	B	B	B
	神足住宅B棟	RC	新	-	C	C	B	B	B
	神足住宅C棟	RC	新	-	C	C	B	B	B
神足住宅D棟	RC	新	-	C	C	B	B	B	
公園施設	長岡公園（旧管理棟）	W	旧	未	C	C	C	C	C
	長岡公園（事務所兼休憩所）	S	新	-	A	B	B	B	B
	勝竜寺城公園（管理棟）	RC	新	-	B	B	B	B	B
	西山公園（グリーンハウス）	RC	新	-	C	C	A	A	A
	西代里山公園（管理棟）	W	新	-	A	A	A	A	A
駐輪・駐車場施設	長岡天神駅東自転車駐車場	S	新	-	A	C	B	B	B
	長岡京駅西自転車駐車場	S	新	-	A	B	A	A	A
	長岡京駅東自転車駐車場	S	新	-	A	B	B	B	B
	長岡京駅西駐車場	S	新	-	A	A	A	A	A
	西山天王山駅東自転車駐車場	S	新	-	A	B	A	A	A
	西山天王山駅中央自転車駐車場	S	新	-	A	A	A	A	A
	西山天王山駅西自転車駐車場	S	新	-	A	B	A	A	A
	西山天王山駅東駐車場	-	-	-	-	-	-	A	A
インフラ施設	供給処理施設	RC	旧	未	-	D	C	A	C
	今里雨水ポンプ場	RC	新	-	A	A	A	A	A
	東ポンプ場（全体）	RC	旧	済	B	B	C	A	A
	東第2浄水場（全体）	RC	旧	済	B	A	C	A	A
	北ポンプ場（全体）	RC	新	-	A	A	A	A	A

※1 施設名欄で（全体）と表示のある施設については、そのうちもっとも古い施設の状況とする。

※2 構造 S：鉄骨造、RC：鉄筋コンクリート造、W：木造、CB：ブロック造

※3 基準 新：新耐震基準のこと。昭和56年(1981年)建築基準法改正時に制定。旧耐震基準に比べて倒壊率が低いとされる。旧：旧耐震基準のこと。

※4 診断 未：未実施、済：実施済、-：新耐震基準の場合は診断不要としとする。

※5 劣化状況調査：建築基準法第12条にもとづく定期検査のほか、施設所管職員による点検を行い、部位ごとの劣化状況によるA>B>C>Dの順で評価したもの。総合交流センター、長法寺小学校開放センター、長岡第七小学校開放センター、長岡第八小学校開放センターについては、施設管理の主体が異なるため-とする。

4. 施設の基本方向の検討

(1) 施設分類ごとの状況と課題

①医療施設

医療施設は、乙訓2市1町で共同運営する乙訓休日応急診療所のみで、市民が日曜や祝日などでも医療を受けられるよう、内科・小児科の診療体制の確保に努めています。このたび、済生会京都府病院の新築移転に合わせて同病院の敷地内に移転することになりました。

地域医療ビジョン*懇談会における救急医療体制に関する議論を踏まえ、共同運営する乙訓2市1町や乙訓医師会などと協力・調整し、長岡京市をはじめ乙訓地域の医療提供体制の充実を図ります。

②保健・福祉施設

保健・福祉施設としては、保健センターや老人福祉センター等があり、地域住民の福祉や交流の拠点となっています。施設の老朽化や設備の不備などにより、利用が低迷している施設もみられますが、新築移転などにより一部施設で改善が期待できます。

また、現在、障がい者や高齢者などあらゆる世代が相互交流を深めることができる共生型福祉施設の整備を進めています。

保健・福祉施設は市民生活を支えるものであることから、市民サービスの向上につながるよう十分に配慮します。

③子育て支援施設

子育て支援施設は、保育所や放課後児童クラブ施設など、小学校施設との連携が期待される施設です。近年、老朽化が進行していたことから、大規模改修や小学校との複合整備が進められています。

子どもたちが安全かつ健やかに過ごせ、子育て世帯が安心して生活できるよう施設の老朽化対策や狭あい化の課題に対する対策を計画的に進めるほか、学校教育施設や民間との連携による施設の効率的な管理運営手法の導入など、市民サービスの向上につながるよう十分に配慮します。

④スポーツ施設

スポーツ施設としては、スポーツセンターと西山公園体育館がありますが、いずれも開設から35年以上が経過し、施設の老朽化が課題となっています。

このため、市民の健全な身体を育む運動・スポーツ施設の環境の改善に向けて、長期的な施設のあり方も見据え、適切な施設整備、維持管理を推進します。

*地域医療ビジョン＝長岡京市域の医療資源を有効に活用し、在宅医療体制の充実や地域の診療所、病院と中核病院との連携のあり方を検討し強化するなど、効率的な医療体制の充実を図るためのビジョン。平成30年(2018年)度策定。

⑤産業系施設

産業系施設としては、産業文化会館と観光案内所があり、産業文化会館は、老朽化や耐震性、バリアフリー等への対応といった課題を解決するため、市庁舎の建替えに併せて新庁舎へ機能移転します。

また、観光案内所は、長岡天神駅周辺整備事業の進捗によって移転等の検討が必要となってきます。

⑥学校教育系施設

小学校及び中学校は耐震化対応を終了しており、構造躯体の安全性は確保されているため、さらなる環境改善のために必要な修繕を実施しています。

老朽化に応じて建替えや大規模改修等を計画的に進め、児童生徒の安全で快適な学校生活と充実した学習環境、災害時の避難所としての機能を保ちます。

⑦市民文化系・社会教育系施設

子どもから高齢者に至るまでのすべての市民が、文化に触れたり生涯学習を行うための施設です。

老朽化や狭あい化といった課題がある施設については、大規模改修や建替え等を行うことで現行の機能を維持することを基本としながら、より多くの人のニーズに応えられるよう、運営内容の充実と業務の効率化を図ります。

⑧行政系施設

行政系施設は、多くの人が市民サービスを受ける庁舎や防災関連施設ですが、本庁舎については建設から50年余りが経過し、老朽化やバリアフリーへの対応が課題となっていることから、建替え及びその周辺整備を進めます。

防災関連施設は、平成28年(2016年)度に開設した南部地域防災センター以外の消防分団施設は、いずれも小規模ですが災害時に機能を保てるよう、適切な維持管理を行います。

⑨公営住宅

市営住宅が6か所14施設あり、昭和50年(1975年)前後から平成9年(1997年)までに整備されており、「長岡京市営住宅等長寿命化計画」に基づき大規模改修を進めてきました。

残る課題である深田住宅及び神足住宅は、「第2次長岡京市営住宅等長寿命化計画」の期間中に対応するとともに、全体として予防保全的な維持管理及び耐久性の向上や高齢者に対応した住宅改修を進めます。

⑩公園施設

都市公園施設については、都市公園である長岡公園、西代里山公園、勝竜寺城公園、西山公園にあります。今後も適切な維持管理を行いつつ、利用サービスの向上と管理コストの削減に向け、更なる民間活力の活用を検討します。

⑪駐輪場・駐車場施設

駐輪場・駐車場施設については、駐輪場 6 か所と駐車場 2 か所あります。今後も適切な維持管理を行いつつ、利用サービスの向上と管理コストの削減に向け、更なる民間活力の活用を検討します。

⑫インフラ施設

インフラ施設としてはポンプ場施設、浄水場があります。ポンプ場等上下水道関連施設については、「長岡京市上下水道ビジョン（経営戦略）*」に基づいて東ポンプ場を廃止し、その機能を東第2浄水場で行います。

*長岡京市上下水道ビジョン（経営戦略）＝上下水道事業を安定的に運営するため、上下水道施設の整備のあり方などの根本的な課題について明確な方向を示す計画。

(2) 各施設の今後の再編に向けた検討の方向性

<公共施設>

(医療施設)

①乙訓休日応急診療所

(設置目的)

休日等における応急的な医療を確保するため。

(※「乙訓休日応急診療所設置条例」による)

(現 状)

乙訓 2 市 1 町で共同運営している施設で、日・祝日・年末年始の急病者に対して応急的な診療を行っています。年間稼働日数は約 71 日、患者数は年平均 5,506 人となっています。保健センターとの複合施設となっており、公共交通機関が少ない北部地域に位置しているため、自家用車の利用が多く駐車スペースが不足しがちで、特にインフルエンザの流行期には長い駐車待ちが発生しています。

建物については、平成 26 年(2014 年)度の大規模改修や利用者に配慮したバリアフリー化が図られていますが、昭和 56 年(1981 年)度に建築されているため、設備の老朽化や建物の劣化が深刻になっています。

(検討の方向性)

平成 30 年(2018 年)度策定の「地域医療ビジョン」の中で、乙訓休日応急診療所(一次救急医療機関*1)と後送病院*2となる二次救急医療機関*3との連携強化を重点項目としていることを受けて、令和 4 年(2022 年)度の済生会京都府病院の新築移転に合わせて、同病院の敷地内に移転を予定しています。なお、移転後の跡地の活用に関しては未定です。「跡地(未利用地)利活用方針」(P. 51 参照)に則して検討を進めます。



- *1 一次救急医療機関＝入院治療の必要がなく、帰宅可能な軽症患者に対応する第一次(初期)の救急医療を行う医療機関。
- *2 後送病院＝一次救急医療機関を受診した患者が、入院が必要と判断された場合に移送される入院治療の可能な病院。
- *3 二次救急医療機関＝入院治療や手術を必要とする患者に対応する救急医療を担う医療機関。

（保健・福祉施設）

②保健センター

（設置目的）

市民の健康の保持及び増進を図るため。

（※「長岡京市保健センター設置条例」による）

（現 状）

乳幼児健診、がん検診・健康診査、健康相談、保健指導などの事業を中心にあらゆる世代の方に利用されています。年間稼働日数は約 220 日間で年間利用者数は約 2 万人となっています。

乙訓休日応急診療所との複合施設となっており、公共交通機関が少ない北部地域に位置しているため、自家用車の利用が多く駐車スペースが不足しています。また、市庁舎と離れていることから一体的な連携が取りづらく、市職員も保健事業のたびに往復移動するほか、健診の際に使用するパソコンも本庁舎とは別に配備する必要があり、事務効率が悪い状況です。そのため、利便性が高く、市庁舎と緊密な連携の取れる地域への移転が望まれています。

施設については、平成 26 年(2014 年)度の大規模改修や利用者に配慮したバリアフリー化が図られていますが、昭和 57 年(1982 年)度に建築されているため、設備の老朽化や建物の劣化が深刻になっています。

これらを踏まえて、利用者の利便性や事務効率の向上を図るため、平成 29 年(2017 年)度に策定した「長岡京市庁舎等再整備基本計画」の中で、保健センター的機能を新庁舎へ加えることとし、現在の保健センターから新庁舎に機能移転することとしました。

（検討の方向性）

新庁舎への保健センターの機能移転時期については、新庁舎が完成する令和 8 年(2026 年)度を予定しています。新庁舎への移転が完了するまでの間は必要な修繕を適宜行い、機能維持に努めます。なお、移転後の跡地の活用に関しては未定です。「跡地（未利用地）利活用方針」（P. 51 参照）に則して検討を進めます。

③老人福祉センター竹寿苑

(設置目的)

地域の老人に対して、各種の相談に応ずるとともに健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって老人に健康で明るい生活を営ませること。

(※「長岡京市老人福祉センター設置条例」による)

(現 状)

登録団体や地域団体への貸館、浴場、娯楽室があり、各種イベントの実施を通じて高齢者が健康の増進や社会参加を果たす役割をしています。開館日は平日のみで、年間利用者は約2万人です。

建物については、全体的に老朽化が進んでおり、各設備の不具合も著しく、バリアフリー対応も不十分な状態です。

これらの状況を踏まえて大規模改修や建替えを検討した結果、令和元年（2019年）度に策定した「長岡京市共生型福祉施設構想」の中で新たに建て直すこととしています。

(検討の方向性)

「長岡京市共生型福祉施設構想」及び「老人福祉センター竹寿苑改築基本計画」に基づいて、介護予防拠点等の新しい機能を付与し、(仮称)介護予防センター竹寿苑として令和6年(2024年)度(予定)に京都府向日が丘支援学校敷地内に新築移転することとします。また、施設運営については、指定管理者制度を含めた、より効果的な運営を検討します。なお、移転後の跡地の活用に関しては未定です。「跡地(未利用地)利活用方針」(P. 51参照)に則して検討を進めます。



*共生型福祉施設構想=京都府が検討している府立向日が丘支援学校の改築に伴い、同校の周辺などを有効に活用しながら、本市が抱えている福祉的ニーズへ対応する「共生型施設」を整備する構想。

④旧老人憩の家

(設置目的)

地域の老人に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与しもって老人に健康で明るい生活を営ませること。

(※「長岡京市老人憩の家設置条例」による)

(現 状)

建物については、全体的に老朽化が著しくバリアフリー対応も不十分であるほか、各設備も老朽化による不具合が発生しており修繕を繰り返している状況でした。

そのため、近隣の各施設のあり方を検討する中で北開田会館内への機能統合を目指してきましたが、北開田会館のエレベーター設置完了を受けて令和3年(2021年)度に北開田会館との機能統合を行いました。なお、旧老人憩の家は現在閉鎖しています。

(検討の方向性)

現在閉鎖中の旧老人憩の家については令和4年(2022年)度中に解体を予定しています。解体後の跡地は市が引き続き保有し、活用内容が決定するまでの間、暫定利用として駐車場を整備する方向で検討を進め、周辺の路上駐車対策や市営浴場の利便性向上などに寄与します。



⑤地域福祉センターきりしま苑

(設置目的)

長岡京市における福祉活動の拠点として、市民の福祉ニーズに応じた福祉サービスや援助及び各種福祉情報の提供等を総合的に行い、もって市民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図ること。

(※「長岡京市地域福祉センター設置条例」による)

(現 状)

市内の福祉活動拠点として、浴室や図書コーナー、娯楽室等の和洋大小様々な多目的のルームがあり、カラオケや体操など様々なサークル活動で利用されているほか、ステージを使用した大規模なイベントも開催されています。なお、災害時には福祉避難所に指定されています。年間稼働日数は土日祝、年末年始を除く約240日で、年間利用者数は約4万人です。また、平成18年(2006年)から指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を行っています。

建物については、建設から30年が経過しており、施設の随所に不具合が生じています。設備においても、主に配管や照明設備の修繕を重ねており、老朽化が著しく進んでいることから大規模改修を含めた今後のあり方を検討する時期にきています。

(検討の方向性)

計画的な修繕を行いながら長寿命化を推進していくこととします。そのため、修繕が必要な箇所や施設の現状を調査することとし、他の保健福祉施設の修繕事業と調整したうえで実施年度・規模などを検討します。



⑥長岡京市営浴場

(設置目的)

市民の健康増進及び相互交流を図ること。

(※「長岡京市営浴場設置条例」による)

(現 状)

地域に根差した相互交流を図るための施設として、1階に浴場、2階に会議室があり、地域の交流の場として活用されています。

年間稼働日数は毎週木曜日の休館日を除く約310日であり、年間利用者数は約4万人と多いですが、施設の性格から管理費が多額であり、赤字経営が続いています。

建物については、前回の大規模改修から25年が経過していることから施設全体として老朽化が進み、修繕を繰り返しています。また、設備についても老朽化が進んでおり、空調設備やボイラー機器取替などの大規模修繕を実施しているものの、利用者に影響を与えない最低限の修繕にとどまっています。なお、配管において腐食に伴う水漏れが発生しており計画的な修繕が必要です。

(検討の方向性)

当面の間は計画的な修繕を行いながら施設の機能維持に努めます。また、効率的な運営改善を進めながら、利用者数の増加及び維持管理費の削減を図ります。



⑦あったかふれあいセンター

(設置目的)

長岡京市における地域住民の支え合い及び交流の拠点として、地域の中で様々な世代の交流が促進される環境を整備することにより、地域における支え合い活動、高齢者の自立生活支援や生きがい活動、介護予防、多世代交流等に寄与すること。

(※「長岡京市立あったかふれあいセンター設置条例」による)

(現 状)

地域住民の支え合いや交流の拠点として、地域における支え合い活動、高齢者の自立生活支援や生きがい活動、介護予防、多世代交流の場としてだけでなく、認知症に関する講座や不登校児の集いの場など多岐にわたる利用者に合った講座や教室として利用されています。年間稼働日数は約290日で、年間利用人数は5,500人～6,000人です。

また、現在は運営をNPO法人に委託していますが、サービスの向上や管理運営の効率化、独自事業の活性化等を図るため、より良い施設管理を検討しています。

建物については、平成26年(2014年)度に建設された新しい建物のため、大きな劣化もなく良好な状態であり、バリアフリー化がなされています。

(検討の方向性)

今後も適切な維持管理に努め、長寿命化を推進していくこととします。

また、令和6年(2024年)度での指定管理者制度の導入を検討していきます。



(子育て支援施設)

⑧保育所

(設置目的)

児童福祉の増進に寄与するため。

(※「保育所設置条例」による)

(現 状)

市内の子どもの人口については、今後、減少が予想されていますが、保育ニーズは、保護者の就労状況の変化等による増加も考えられる状況です。今後も保護者の就労状況の変化等を踏まえ、適切に教育・保育ニーズに対応するため、市内認可保育施設全体として、施設などのハード面と保育士を始めとする人的資源などのソフト面の両面からの検討が必要です。

市立保育所は、開田保育所、神足保育所、滝ノ町保育所、新田保育所、深田保育所の5か所で運営してきましたが、令和3年(2021年)度から神足保育所が民間移管されたため、現在は4か所となっています。

開田保育所は、平成28年(2016年)度に神足小学校及び放課後児童クラブとの複合化施設として新築移転したため、良好な状態を保っています。

滝ノ町保育所は、壁の剥離等園舎の老朽化が著しく、設備の不具合なども見つかり、園児の安全性を考慮すると早期の対策が必要です。しかし、敷地面積や住宅に囲まれた立地環境等の課題があり、現地での建替えは困難な状況にあります。現在は、毎年部分改修を施し、現状を維持している状況です。また、駐車場が整備されておらず、送迎時の駐車スペースがないことも課題となっています。

新田保育所は、令和元年(2019年)度に長岡第六小学校との複合化施設として定員増を伴う新築移転をしたため、良好な状態を保っています。

深田保育所は、園舎の老朽化が著しく、設備の不具合も見つかり、毎年部分改修を施し現状を維持している状況です。そのため、園児の安全性を考慮すると大規模改修や建替えを検討する必要がありますが、園庭が狭いことから、現地での建替えは困難な状況です。また、駐車場が整備されておらず、送迎時の駐車スペースがないことも課題となっています。

【表 保育所の概要（令和4年3月31日時点）】

名称	階層・構造	経過年数	延床面積 (㎡)	耐震化状況	大規模改修実施状況	備考
開田保育所	3階・RC造 (1,2階部分)	6年	1,268	新耐震基準	—	神足小学校との複合施設
滝ノ町保育所	2階・RC造	49年	753	耐震補強不要	H3年度実施	
新田保育所	3階・RC造 (1,2階部分)	2年	1,476	新耐震基準	—	長岡第六小学校との複合施設
深田保育所	2階・RC造	46年	895	H24耐震補強実施済	H5年度実施	

(太字は今後対応の必要がある施設)

(検討の方向性)

開田保育所及び新田保育所については、今後も適切な維持管理に努め、長寿命化を推進していくこととします。

滝ノ町保育所と深田保育所については、第2期子ども・子育て支援事業計画（令和2～6年度）中は、現施設において、従来通りの児童の受け入れを行うことを想定し、園児の安全に最大限配慮の上、適宜修繕をしていくこととします。

また、第3期子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度予定）策定の中で、各施設の役割や建物に必要とされる規模を見定めながら、大規模改修や建替えについては深田保育所を優先的に進め、滝ノ町保育所については、安心安全な保育環境の確保に必要な修繕を行います。



◎放課後児童クラブ

(設置目的)

長岡京市立小学校に在学する児童のうち共働き、その他の事情により放課後に保育が必要となる児童に対し、適切な場所を設けて保育を行い、これらの児童を健やかに育成すること。

(現 状)

放課後児童クラブの対象児童は、原則として小学校1年生から4年生までとしており、市内10小学校で12の放課後児童クラブ施設が設置されています。利用者については、小学校の児童数は横ばいで推移しているものの、保護者の就労機会の増加などにより放課後児童クラブへの入会率が毎年伸びています。特に長岡第九小学校の施設において、大型マンション建設に伴い児童数の増加が見込まれていることから、入会児童数も伸びるものと思われます。

建物については、長岡第四小学校の施設は建築から39年を経過し、老朽化が進んでいるほか、狭あい化の進展も見られます。それ以外の施設については、平成27年(2015年)度以降で神足小、長岡第三小、長岡第五小、長岡第六小、長岡第十小の施設を整備するなど、概ね良好な状態を保っています。

(検討の方向性)

第4次総合計画第2期基本計画の期間である令和3年(2021年)～令和7年(2025年)度については、長岡第四小学校と長岡第九小学校の施設の建替えを実施します。

施設の完成時期は、長岡第四小学校については令和5年(2023年)度、長岡第九小学校については令和4年(2022年)度を予定しています。

それ以降については、「第2期施設整備期間」(令和7年(2025年)～令和14年(2032年))として、児童数の推移等を踏まえ、状況に即した整備となるよう検討と見直しを行います。

また検討にあたっては、施設整備の視点だけでなく、学校施設の活用も含め幅広い視点で行います。

⑩北開田児童館

(設置目的)

児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにするため。

(※「長岡京市児童館設置条例」による)

(現 状)

子どもの遊び場の提供及び乳幼児親子の交流の場所として、日常のレクリエーションに使用している遊戯室のほか、図書室、学習室、キッズルームなどがあり、利用者は年間1万4千人を超えています。当初は地域児童を対象に生活習慣の確立と学力、人権意識の向上に取り組む施設として開設しましたが、平成26年(2014年)度に乳幼児親子の利用を呼び掛けたことや駐車場を設けたことにより、今では市内全域から利用者が来られるようになっています。

建物については、平成8年(1996年)度に耐震診断を実施し、耐震性に問題がないことを確認したことを受けて、平成9年(1997年)度に大規模改修を実施しています。しかしながら、大規模改修から20年以上が経過しているため施設全体として老朽化が進んでおり、特に空調設備の更新、屋上防水、外壁等の劣化については早急な対応が必要です。

(検討の方向性)

当面の間は計画的な修繕を行いながら、長寿命化を推進していくこととします。また、空調設備の更新、屋上防水、外壁等については早急に改修を実施することとします。



(スポーツ施設)

⑪スポーツセンター

(設置目的)

運動の用に供することにより、住民の健康増進及びスポーツの振興を図る。

(現 状)

バスケットコートが1面とれる体育館のほか、グラウンド、テニスコート2面（人工芝）からなります。年間利用者は約9万人です。平成18年(2006年)度から指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を行っています。

体育館については、床等の施設全体で老朽化が進んでいるうえ、平成25年(2013年)度に耐震診断を実施した結果、安全性が担保されていないことが分かっています。

また、グラウンドについては、不整形地のため競技用サッカー等の公式競技として利用することができず、テニスコートについては、経年劣化により部分的な芝の摩耗が進んでいます。

そのため、令和2年(2020年)度を実施したアンケート調査や関係団体との意見交換では、施設への不満があると答えた利用者の多くが設備の老朽化に関するものであり、部分修繕で対応可能であるため建替えが必要不可欠な状態とは判断できない結果となりましたが、老朽化が進んでいることから建替え等の抜本的な対策を検討する時期にきています。

(検討の方向性)

体育館については、耐震化、機能の向上を目指した建替え、またグラウンドについては拡張を含めた再整備を基本的な方針とします。

ただし、当該地が浸水想定区域にあることや周辺自治体の施設整備の動向を見定める必要があることなどから、関係団体とも協議し慎重に検討を進めます。

なお、再整備までの間は、施設の安全確保や環境改善のための修繕を計画的に行います。



⑫西山公園体育館

(設置目的)

運動の用に供することにより、住民の健康増進及びスポーツの振興を図る。

(現 状)

市民の健康・体力の保持増進及びスポーツ推進の拠点として、大小の体育室のほか、武道場、トレーニング室、研修室を備えており、各種スクール事業や公式競技大会を含む数多くのイベントに利用されています。利用者は年間約18万人となっています。また、平成18年(2006年)度から指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を行っています。

建物については、建設から35年が経過していますが、大体育室の床や屋根、空調設備の改修などの大規模改修を実施しており、一部で劣化が見られるものの適切な状態を維持しています。しかし、設備の多くで老朽化が進んでいることから計画的な改修が必要です。

(検討の方向性)

今後も適切な維持管理に努め、長寿命化を推進していくこととします。

設備を含めた修繕を計画的に実施していき、各種競技に要求される環境整備や利用者の利便性のために必要な修繕や改修を適宜行うなど、安心して利用できる施設環境の確保に努めることとします。



(産業系施設)

⑬産業文化会館

(設置目的)

本市における産業の振興及び発展をはかるとともに、市民の生活と文化の向上をはかるため。

(※「長岡京市産業文化会館設置条例」による)

(現 状)

貸館施設として、展示ロビーにもなる大会議室をはじめ、7つの会議室と和室があり、展示会、イベント、各種サークル活動及び会議等の幅広い用途で利用されています。年間稼働日数は年末年始を除く約360日で、利用者は年間約7万人となっています。

建物については、全体的な老朽化が進んでいるうえ、平成14年(2002年)度に耐震診断を実施した結果、安全性が担保されていないことが分かっています。さらに、バリアフリー対応が不十分であることから、大規模改修や建替えが必要な状態となっています。

そのため、平成29年(2017年)3月に策定した「長岡京市庁舎等再整備基本構想」の中で、老朽化問題をはじめ、管理運営面の効率化や利便性及び賑わいの創出が期待できることから、市庁舎と産業文化会館を一体整備する方針を定めました。市庁舎の建替えに併せて新庁舎の中に機能移転し複合化することで課題解決を図ることとします。

(検討の方向性)

新庁舎への機能移転時期は、新庁舎完成予定の令和8年(2026年)度を予定しています。また、これまで個別に維持管理をしてきた空調機器・エレベーター等の各設備について市庁舎と共用することで経費の縮減を目指します。

新庁舎への移転が完了するまでの間は必要な修繕を適宜行い、機能維持に努めることとします。なお、移転後の跡地の活用に関して阪急長岡天神駅周辺整備事業にかかる代替地として検討しています。

⑭観光案内所

(設置目的)

本市の恵まれた自然風土と歴史的、文化的遺産を広く紹介し、文化の向上と観光の発展に寄与するとともに、市民及び観光客の利便を図ること。

(※「長岡京市観光案内所設置条例」による)

(現 状)

阪急長岡天神駅前の観光案内の窓口として、神社仏閣・観光施設・食事処・イベント等の案内のほか、特産品及び工芸品の展示・販売も行っています。年間稼働日数は約320日で、来訪者は約1万人です。平成18年(2006年)度より指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を行っています。

なお、市内に観光案内所は他に2か所(観光情報センター(総合交流センター2階)、長岡京@navi.(阪急西山天王山駅))設置されていますが、当観光案内所が最も来訪者が多く訪れています。

建物については、バリアフリーに対応しており、部分的に老朽化が見られますが、大きな損傷はありません。

(検討の方向性)

当面の間は施設の機能維持に努めることとします。

ただし、長岡天神駅周辺整備事業の進捗状況によっては、移転等の検討を行います。



(学校教育系施設)

⑮学校

(設置目的)

小学校＝心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを施すこと。

中学校＝小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すこと。

(現 状)

本市が管理する小中学校は、小学校が10校、中学校が4校あり、児童生徒数は平成22年(2010年)度以降、全体としては横ばいで推移しています。児童生徒数の将来推計は減少傾向にあります。長岡第九小学校区の大規模マンション建設や市内の宅地開発等の影響により、学校によっては児童生徒数の増加が見込まれています。

施設については、平成27年(2015年)度末までに構造躯体の耐震化100%を達成し、一定の安全性は確保できていますが、建設後40年を超える施設が約半数あり、全体的に老朽化が進んでいる状態です。耐震補強工事完了後は、非構造部材の耐震化やトイレ改修のほか、施設の複合化、中学校給食の開始に向けた共同調理場建設及び配膳室整備を順次行ってきました。

(検討の方向性)

現状の小学校10校・中学校4校を維持しますが、今後の宅地開発等や小学校の35人学級への移行により、児童生徒数及び学級数の増減が長期に見込まれる場合は、改修工事等での対応や、必要に応じて学校施設の規模を見直します。

施設全体の方向性としては、適切な維持管理を行い、長寿命化を推進しますが、施設や設備における老朽化の実態等に応じて個々の施設ごとに判断し、必要に応じて建替えを検討します。

長岡第四小学校については、施設全体の老朽化に加え、給食施設の衛生管理基準への適合、バリアフリー化、放課後児童クラブの狭あい化・老朽化などの課題を抜本的に解決するため学校施設全体の再整備を進めます。同様に施設全体の老朽化が課題となっている長岡第三小学校についても、校舎の建替えの具体的な検討を進めます。

長岡第九小学校については、老朽化や児童増に伴い大規模な改修等を行います。

その他の小中学校に関しては、普通教室等の空調設備更新、空調設備が未設置の特別教室への設置、LED照明器具への更新を進めるとともに、設備改修・内装改修等を実施することで長寿命化を図ります。

【表 学校の概要（令和4年3月31日時点）】

名称	階層・構造※1	経過年数※2	延床面積(m ²)※3	耐震化状況	大規模改修実施状況	備考
神足小学校	3階・RC造	48年	7,130	・給食棟, 渡り廊下, 南西棟, 南東棟=新耐震基準(H25年度増築, H27年度改築) ・階段・給食棟, 屋内運動場=新耐震基準(S56以降) ・北西棟, 北東棟=耐震補強済(H25年度)	H20, 25, R3年度	
長法寺小学校	4階・RC造	52年	5,011	・北棟=新耐震基準(H20年度改築) ・南西棟, 南東棟, 管理棟, 屋内運動場=耐震補強済(H18, 24年度)	H19, 20, 24年度	
長岡第三小学校	4階・RC造	55年	5,355	・校舎, 屋内運動場=耐震補強済(H22, 23, 25年度)	H2, 3, 4, 11, 20, 22, 25年度	建替予定
長岡第四小学校	3階・RC造	54年	5,079	・校舎, 屋内運動場=耐震補強済(H22, 25年度)	H5~7, 20, 22, 24年度	建替予定
長岡第五小学校	3階・RC造	51年	7,275	・西棟=新耐震基準(H26年度増築) ・北棟, 南棟, 東棟, 屋内運動場=耐震補強済(H21, 24, 26, 27年度)	H20, 24, 26, 27年度	
長岡第六小学校	4階・RC造	49年	6,021	・校舎, 屋内運動場=耐震補強済(H21, 24, 27年度) ・EV棟, 給食棟=新耐震基準(H30年度増築・R元年度改築)	H20, 24, 27年度	
長岡第七小学校	3階・RC造	11年	5,307	・校舎, 屋内運動場=新耐震基準(H22年度改築)	—	
長岡第八小学校	3階・RC造	47年	6,496	・校舎=耐震補強済(H27年度) ・屋内運動場=新耐震基準(H21年度改築) ・給食棟, EV棟, 廊下棟=新耐震基準(H30年度改築, 増築)	H11, 20, 27年度	
長岡第九小学校	3階・RC造	43年	5,408	・南東棟=新耐震基準(S56以降) ・屋内運動場=耐震補強済(H23年度) ・北棟, 西棟, 南西棟=耐震性能有	H10, 20, 23, 29年度	
長岡第十小学校	3階・RC造	42年	5,177	・屋内運動場, 東棟=耐震補強済(H23, 27年度) ・北棟, 南棟=耐震性能有 ・給食棟, EB棟=新耐震基準(H29年度改築, 増築)	H20, 23, 27年度	
長岡中学校	4階・RC造	61年	9,294	・屋内運動場=新耐震基準(S56以降) ・校舎=耐震補強済(H22, 26年度) ・EV棟=新耐震基準(R元年度増築)	H20, 26, 28, R元年度	
長岡第二中学校	4階・RC造	49年	8,125	・屋内運動場=新耐震基準(H21年度改築) ・武道場=新耐震基準(S56以降) ・校舎=耐震補強済(H24, 25年度) ・EV棟=新耐震基準(H29年度増築)	H20, 24, 25年度	
長岡第三中学校	4階・RC造	46年	6,986	・北東棟, 屋内運動場, 北中棟, 南棟=耐震補強済(H22, 23, 26年度) ・北西棟, 武道場=新耐震基準(S56以降) ・配膳室, 多目的トイレ, EV棟=新耐震基準(H30増築)	H4, 20, 23, 26年度	
長岡第四中学校	3階・RC造	37年	6,452	・校舎, 屋内運動場, 武道場=新耐震基準(S56以降) ・給食棟, 技術棟, EV棟=新耐震基準(H30年度改築)	H20, 28年度	

※1：もっとも高い階数の校舎

※2：もっとも建築年度の古い校舎の経過年数

※3：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」に基づく延床面積

(市民文化系・社会教育系施設)

⑩埋蔵文化財調査センター

(設置目的)

本市の歴史と文化を明らかにする埋蔵文化財等の保存及び活用を図り、もって市民文化の向上に資するため。

(※「長岡京市埋蔵文化財調査センター設置条例」による)

(現 状)

A～C棟、便所棟の4棟からなり、A棟は展示スペース、事務室、B棟は収蔵庫、図面整理室、C棟は図書・図面収納室、作業室として利用しています。展示スペースは歴史・文化を広く学ぶ施設として一般公開しています。年間稼働日数は約270日で、年間利用者は約2,000人となっています。

建物については、各棟で建築年度が異なるものの、いずれも施設全体の老朽化が進んでいます。また、保管スペースが足りず、他施設を一時的に借りて保管（収蔵）しているなど、施設の老朽化・耐震不足、狭あい化、分散化といった課題があります。

【表 埋蔵文化財調査センターの概要（令和4年3月31日時点）】

名称	階層・構造	経過年数	延床面積(m ²)	耐震化の状況	大規模改修実施状況	備考
A棟	2階(地下1)・RC造	52年	594	耐震化未実施	H12年度実施	
B棟	2階・RC造	52年	305	耐震化未実施	H12年度実施	
C棟	2階・RC造	37年	244	新耐震基準	—	
便所棟	1階・CB造	37年	25	新耐震基準	—	

(太字は今後対応の必要がある施設)

(検討の方向性)

建物は老朽化及び耐震性の不足という安全面などに課題があり、現在地からの移転も含めて検討を行います。検討にあたっては、埋蔵文化財調査センターが担っている機能を「展示、保管、整理作業」の3つに分け、それぞれについて課題を整理し方向性を検討します。

「展示」機能については、新庁舎に展示室（二期庁舎）に移設することとします。

「保管」機能については、増加が想定される文化財に対し必要となるスペースや環境を調査し、さらに施設外に保存している文化財の集約も視野に入れ、移転や現施設の改修、長寿命化対策の実施等の検討を行います。

「整理作業」機能については、作業効率の点から「保管」機能と一体で検討します。

⑰多世代交流ふれあいセンター

(設置目的)

長岡京市における世代を超えた市民の幅広い交流を促進し、市民活動、男女共同参画、地域福祉、健康づくり及び生涯学習に寄与すること。

(※「長岡京市立多世代交流ふれあいセンター設置条例」による)

(現 状)

昭和56年(1981年)度に建設された京都府の婦人教育会館を平成22年(2010年)度取得し、多世代交流ふれあいセンターとして開設しました。貸館施設として、各種サークル活動及び会議等、生涯学習及び多世代の交流の場として幅広い用途で利用されています。年間稼働日数は約350日で年間利用者数は約3万人です。

建物については、令和3年(2021年)度に屋上等の防水改修工事を実施したものの、トイレや給排水設備等の各設備を含めた施設全体の老朽化が進んでいます。また、エレベーター未設置等のバリアフリー対応が不十分という課題があります。

(検討の方向性)

計画的な修繕を行いながら、長寿命化を推進していくこととします。

なお、各設備等を含めた大規模改修やバリアフリー対策を検討する際は、個別に実施可否を判断したうえで計画的に実施することとします。



⑱ 図書館

(設置目的)

市民の教養と文化の発展に寄与するため。

(※「長岡京市図書館設置条例」による)

(現 状)

1,2階に図書館機能が、3階には文化財保存活用課が配置されています。建物の大部分を占める図書館機能では、図書、その他資料を収集、整理、保存しており、生涯学習や市民の憩いの場として、教養、調査研究、レクリエーション等に幅広く利用されています。年間開館日数は約280日で、年間貸出者数は約15万人^{*}です。

建物については、概ねバリアフリーに対応しており、令和元年(2019年)度に屋上等の防水改修工事を行うなど、適宜修繕を実施していますが、建物や内装に多くの傷みが見られます。また、蔵書の保存機器等の老朽化や耐用年数を超過している様々な設備の更新が必要となっています。

^{*}資料閲覧及び複写目的の利用者は含まない

(検討の方向性)

計画的な修繕を行いながら、長寿命化を推進していくこととします。



⑱中央公民館

(設置目的)

本市における地域文化の振興を図る目的をもって、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、市民の教養の向上とコミュニティ活動の促進に寄与すること。

(※「長岡京市中央公民館設置条例」による)

(現 状)

1、2階にはレクリエーション室、講座室、料理室等の各種貸室があり、3階は多目的に使える市民ホールとなっています。市民のライフステージに合わせた講座や学級、講演会等の開催による学習機会の提供や、自主的なサークル活動、成果発表の場として利用されています。年間開館日数は約300日で、年間利用者は約10万人です。

京都府が所管する長岡京記念文化会館と隣接、一部複合化しています。また受電設備等の一部施設を共用しています。

建物については、概ねバリアフリーに対応しているほか、小修繕を適宜実施しています。昭和62年度末の供用開始以後、30年余りが経過していることもあり、屋上防水などの対応が必要となっています。

(検討の方向性)

計画的な修繕を行いながら、長寿命化を推進していくこととします。



⑩北開田会館

(設置目的)

地域住民の社会的、経済的及び文化的生活の改善向上に努め、もって健全な市民生活の育成を図るため。

(※「長岡京市北開田会館設置条例」による)

(現 状)

地域住民や団体の交流の場として、生活上の各種相談や軽体操等を中心としたデイサービス事業など文化教養教室事業を行う施設として利用されています。年間稼働日数は約290日で、年間利用者数は約9,000人です。

建物については、昭和39年(1964年)度に建設された北開田自治会館との複合施設となっています。令和2年(2020年)度に耐震診断を実施した結果、北開田自治会館部分を含めて耐震性は確保されています。また、建物全体として老朽化が進んでいますが、多目的トイレや手すり等が設置されているほか、令和3年(2021年)度にはエレベーターを設置したことでバリアフリー化を充実させています。

なお、エレベーターが設置されたことに合わせて、旧老人憩の家と機能統合を行いました。

(検討の方向性)

計画的な修繕を行いながら、長寿命化を推進していくこととします。

ただし、今後築年数が経過し、大規模改修を検討する時期に差し掛かってくることから、実施内容や時期について検討することとします。



②中山修一記念館

(設置目的)

中山修一氏の業績をたたえ、寄贈図書その他郷土資料を保存して広く一般に公開し、長岡京をはじめ郷土史研究及び地域の教育文化の向上に寄与すること。

(※「長岡京市立中山修一記念館設置条例」による)

(現 状)

故中山修一氏の業績を伝えているほか、長岡京市の様々な歴史・文化を普及啓発する場として、一般の方の見学だけでなく市内小学校等の校外学習やミニ講演会などを実施しています。年間稼働日数は約310日で、年間利用日数は約2,600人です。

平成23年(2011年)度より指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を行っています。

建物については、木造建築で建築年度は不明です。中山修一記念館の開館に際し、平成13年(2001年)度に施設の全面改修を実施しました。

(検討の方向性)

今後も適切な維持管理に努め、長寿命化を推進していくこととします。



②総合交流センター

(設置目的)

長岡京市における市民の幅広い交流を促進し、市民主体の社会的文化的な創造活動の推進を図るとともに、総合的なサービス提供機能を整備することにより、市民福祉の増進と地域の活性化に寄与すること。

(※「長岡京市立総合交流センター設置条例」による)

(現 状)

総合交流センターは、JR長岡京駅西口と直結している地下1階地上7階の複合施設バンビオ1番館内にあります。

総合交流センターには、公共施設として1階に市民交流フロア、市民活動サポートセンター、オープンラウンジ、2階には総合生活支援センターと観光情報センター、1階～4階・6階には中央生涯学習センターを設置し、それぞれ指定管理者制度を導入し施設の管理運営を行っています。また、5階に教育支援センター、6階には男女共同参画センターを設置しています。

建物については、築年数が比較的浅く良好な状態を保っていますが、設備修繕が必要な箇所が発生しています。そのうち、使用頻度の高い全体共用部の空調設備室内外機について令和3年(2021年)度に改修を行いました。

なお、全体共用部及び市共用部の修繕にあたっては、バンビオ1番館管理組合又は共用施設管理協議会により行っています。

(検討の方向性)

今後も適切な維持管理に努め、長寿命化を推進していくこととします。

全体共用部については管理組合の修繕計画に基づき管理組合において必要な積立を行い、また、公共施設部については共用施設管理協議会及び各所管課において効果的な修繕に対応します。



②神足ふれあい町家

(設置目的)

国登録有形文化財石田家住宅の保存を図り、地域コミュニティの振興及び市民の教育文化の向上に寄与すること。

(※「長岡京市立神足ふれあい町家設置条例」による)

(現 状)

文化観光情報の提供及び物産の展示・販売、喫茶施設があり、西国街道を散策する人たちに利用されているほか、貸館施設として、展示会やサークル活動等の幅広い用途で利用されています。年間稼働日数は約360日で、年間利用者数は約1.9万人です。また、平成19年(2007年)度より指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を行っています。

建物については、江戸時代末期に建てられた国登録有形文化財である木造住宅です。平成18年(2006年)度に大規模改修し、耐震性を高めた上で平成19年(2007年)度に神足ふれあい町家として開設しました。現在のところ、軽微な劣化は散見されますが概ね良好な状態を保っています。

(検討の方向性)

今後も適切な維持管理に努め、長寿命化を推進していくこととします。

また、修繕にあたっては、国登録有形文化財であることから、現在の造形を維持できる工法を検討することとします。



④小学校開放センター

(設置目的)

市民の地域活動の促進に寄与すること。

(現 状)

各校区における地域活動の促進や校区住民の交流の場として、総合型地域スポーツクラブ、地域コミュニティ協議会、その他の団体が幅広い用途で利用しています。また、各校区の総合型地域スポーツクラブが施設の運営を行っています。

開放センターは、単体で存在するもの（三小、四小、五小、九小）と学校施設を活用するもの（長法寺小、七小、八小）、学童施設と併設（十小）されているものに分けられます。

単体で存在している建物のうち、長岡第四小学校、長岡第五小学校の開放センターについては、築年数が浅いため大きな劣化もなく概ね良好な状態です。また、長岡第三小学校、長岡第九小学校の開放センターについては、建物の細部において老朽化が進んでおり劣化が深刻な状態です。

学童施設と併設されている長岡第十小学校の開放センターについては、築年数が浅く大きな劣化もなく概ね良好な状態です。

(検討の方向性)

すべての開放センターについて、計画的な修繕を行いながら長寿命化を推進していくこととします。なお、各開放センターにおける今後の方向性については以下のとおりです。

- 長岡第九小学校開放センター・・・建替えを検討している放課後児童クラブの整備に合わせて、現行の放課後児童クラブの有効活用を視野に優先して整備することとします。
- 長岡第三小学校地域交流センター・・・長岡第三小学校の校舎全体の建替計画の中での位置づけが確定するまでの間は、安全性を確保しながら施設機能の維持を図ります。
- 長岡第四小学校開放センター・・・校舎の老朽化による学校自体の建替計画の中で学校施設と一体的に整備していくこととします。
- 長岡第五小学校開放センター、長岡第十小学校開放センター・・・今後も適切な維持管理に努めます。
- 長法寺、長岡第七・長岡第八小学校開放センター・・・学校施設を活用していることから、小中学校の施設方針に基づき整備していくこととします。

(行政系施設)

㊦本庁舎・分庁舎

(設置目的)

住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を総合的に実施する。

(現 状)

様々な行政事務を取り扱う場として、本庁舎のほか、分庁舎1(事務所棟)、分庁舎1(作業員棟)、分庁舎2、分庁舎3が整備されています。

本庁舎については、老朽化が深刻なだけでなく、耐震性能の不足や分散化、狭あい化など多くの課題を抱えています。

分庁舎については、いずれの施設も老朽化が進んでいますが、分庁舎1(作業員棟)を除いて耐震性は確保されています。

上記の問題を解決するため、平成29年(2017年)度に「長岡京市庁舎等再整備基本構想」や「長岡京市庁舎等再整備基本計画」を策定し、その中で本庁舎や分庁舎3については取壊すこととし、新庁舎を建設することとしました。また、新庁舎内に産業文化会館と保健センターの機能及び埋蔵文化財調査センターの展示機能等が移転することとなっています。なお、分庁舎1・2については、施設は存続するものの、分庁舎2で執務している部署は新庁舎に移転することとなります。

(検討の方向性)

新庁舎の建設に合わせて本庁舎及び分庁舎3の取壊しを行います。なお、新庁舎は1期庁舎と2期庁舎の2回に分けて建設します。それぞれ供用開始時期は1期庁舎が令和4年(2022年)度、2期庁舎が令和7年(2025年)度の予定をしており、全体完成は令和8年(2026年)度を予定しています。

分庁舎1(事務所棟・作業員棟)については、計画的な修繕を行いながら長寿命化を推進することとします。ただし、分庁舎1(作業員棟)については、災害発生時における職員の安全確保や市民サービスの低下を防ぐため耐震性を確保することを検討します。

分庁舎2については、当面の間は適宜修繕を行いながら維持管理に努めることとしますが、今後必要となる大規模改修については、長岡天神駅周辺整備における事業を見据えながら検討することとします。

なお、本庁舎南側にある旧開田保育所跡地(現在、公用車駐車場として活用中)については、令和6年度中を目途に活用案の検討を進めます(P.54【補足1】参照)。

②6 南部地域防災センター

(設置目的)

防災機能の向上を目指し、長岡京市の南部地域の防災拠点として、災害発災時に迅速な対応をするため。

(現 状)

1階部分については、調子公民館として、2,3階部分については、南部地域防災センターとして平常時には防災備蓄倉庫の更新・在庫管理、職員の研修などで利用しています。発災時には、防災備蓄倉庫からの物資の運搬等の拠点として活用しています。

建物については、築年数が浅いため、大きな劣化もなく概ね良好な状態です。

(検討の方向性)

今後も適切な維持管理に努め、長寿命化を推進していくこととします。

②7 消防分団詰所

(設置目的)

災害時において、長岡京市地域での経験を生かした消火活動・救助活動・水防活動及び防火、防災活動拠点。

(現 状)

消防分団詰所兼車庫からなる第1、2、4分団と、詰所と車庫、防災倉庫からなる第3分団、車庫のみの第5分団があり、いずれも2階建までの小規模な施設です。ポンプ車が配備されており、消防団員が待機・出動するために利用しています。利用頻度は、災害の発生状況により異なりますが5分団合計で年平均330回です。

建物については、全詰所とも経年劣化が見られるものの、大きな劣化もなく良好な状態です。ただし、第2分団詰所については、耐震性が不足している可能性があります。

(検討の方向性)

今後も適切な維持管理に努め、長寿命化を推進していくこととします。

なお、第2分団詰所兼車庫については、令和9年(2027年)度までに建替えを含めた耐震化の検討を進めます。

(公営住宅)

㊸市営住宅

(設置目的)

住宅に困窮する低額所得者に対して賃貸するため。

(※「長岡京市営住宅等の設置及び管理に関する条例」による)

(現 状)

市営住宅は6か所、合計23棟が存在します。建設後30年以上が経過している住宅が多数あるものの、これまで「長岡京市営住宅等長寿命化計画」に基づき大規模改修を進めてきました。残る課題として、深田住宅及び神足住宅について外装の傷みや設備の機能低下等、老朽化への対応が求められています。

今後については、「長岡京市営住宅等長寿命化計画」の続きとなる、「第2次長岡京市営住宅等長寿命化計画」に基づき適切な計画修繕を進めていきます。なお、長寿命化計画は、令和3年(2021年)～令和12年(2030年)度の10年間を対象期間とし、前期、後期を5年ごと【前期：令和3年(2021年)度～令和7年(2025年)度、後期：令和8年(2026年)度～令和12年(2030年)度】に区分した上で、事業の進捗状況や社会経済情勢の変化に応じ、適宜見直しを図るものとしています。

(検討の方向性)

今後の対応についても、「第2次長岡京市営住宅等長寿命化計画」に基づいて進めま

す。
具体的な大規模改修時期については、深田住宅については前期で、神足住宅については後期を予定しています。

令和3年(2021年)度に廃止した中開田住宅の跡地は、都市計画道路の予定地ですが、暫定利用として駐車場を整備し、新庁舎建設工事業者の通勤等に活用しています。



(公園施設)

㊸都市公園施設

(設置目的)

都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること。

(※「都市公園法」による)

(現 状)

都市公園である長岡公園、西代里山公園、勝竜寺城公園に管理棟や事務所、西山公園にはグリーンハウスがあります。いずれの施設も事務所や休憩室として利用されているほか、長岡公園を除く施設については交流や学習の場としても利用されています。さらに、勝竜寺城公園の管理棟においては、勝竜寺城ゆかりの展示スペースがあり、歴史探索などのまちあるきの場として利用されています。また、「名月の宴」や「ガラシャ祭」ではメイン会場として多くの来園者で賑わっています。

建物については、築年数が浅い西代里山公園の管理棟を除く施設において、随所に老朽化の兆しが見られますが、長岡公園の旧管理棟においては他施設と比べて経年劣化が深刻であるうえ、耐震性が不足している可能性があります。

(検討の方向性)

長岡公園の旧管理棟については、取壊しの検討を行い、令和5年(2023年)度を目途に方向性を示すこととします。

西代里山公園の管理棟については、今後も適切な維持管理に努めていくこととし、その他の施設については、計画的な修繕を行いながらそれぞれ長寿命化を推進していくこととします。

(駐輪・駐車場施設)

③0 駐輪・駐車場施設

(設置目的)

駐輪場＝駅周辺道路等における自転車等の駐車秩序を確立するため。

(※「長岡京市自転車等駐車場条例」による)

駐車場＝道路交通の円滑化を図り、市民の利便に資するため。

(※「長岡京市営駐車場設置条例」による)

(現 状)

施設としては、阪急長岡天神駅周辺に駐輪場 1 か所、JR 長岡京駅周辺に駐車場 1 か所、駐輪場が 2 か所、阪急西山天王山駅周辺に駐車場 1 か所、駐輪場 3 か所の、合計駐車場 2 か所、駐輪場 6 か所があります。また、駐車場 2 か所については、指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を行っています。

建物については、長岡天神駅東自転車駐車で建設から 30 年が経過し、雨漏り等老朽化の兆しが見られます。それ以外の建物については、部分的に老朽化が進んでいるものの全体的に良好な状態を保っています。

(検討の方向性)

計画的な修繕を行いながら、適切な維持管理に努めます。

なお、長岡天神駅東自転車駐車場については、中心市街地である長岡天神駅周辺整備事業の進捗に合わせ将来のあり方を検討します。

また、JR長岡京駅周辺の駐輪場2か所については、利用者の利便性向上や管理運営の効率化の観点から、令和4年下半期を目途に機械化し、指定管理者制度を導入する予定です。

<インフラ施設>

①神足ポンプ場

(設置目的)

局地的な集中豪雨時における浸水被害を軽減すること。

(現 状)

本市中心部に位置する「犬川第二排水区」の雨水の排除を行い、浸水被害を軽減しています。

建物については、経年劣化による老朽化や耐震能力の不足が課題となっているほか、施設内の排水ポンプの能力不足が課題となっています。

(検討の方向性)

より一層浸水被害を抑える能力を向上させるために、令和元年(2019年)度に事業認可変更を行い、今後、ポンプ場の建替えやポンプ場を補完する貯留施設を整備し、令和6年(2024年)度の供用開始を目指します。

②今里雨水ポンプ場

(設置目的)

局所的な集中豪雨時における浸水被害を軽減すること。

(現 状)

長岡京市の北部に位置する「風呂川排水区」の浸水被害を軽減するために、集中豪雨時には、水路から今里貯留幹線に雨水を取水し、排水ポンプで小畑川へ放流しています。

建物については、外壁の塗装剥落などが見られるものの、全体的に良好な状態を保っています。なお、電気設備や計装機器等の設備については、平成27年(2015年)度に策定した長寿命化計画に基づき、平成29年(2017年)度から4か年で更新を行いました。

(検討の方向性)

ストックマネジメント計画を策定し、計画的な修繕を行いながら、長寿命化を推進していくこととします。

③東ポンプ場

(設置目的)

浄水場から受水し配水池へ送水すること。

(現 状)

水供給施設であり、一般市民の出入りには衛生管理上、注意を要します。建設当初は浄水場として稼働していましたが、浄水機能が東第2浄水場に集約されたことから、施設内の建物のうち、管理棟以外の建物については現在稼働していません。

建物については、随所に傷みが見られるなど、全体的に老朽化が深刻ですが、使用している設備においては概ね良好な状態です。

(検討の方向性)

「長岡京市上下水道ビジョン(経営戦略)」に基づいて、東ポンプ場で担っている役割を東第2浄水場で行うことにより、令和8年(2026年)度を目標に東ポンプ場を廃止し、解体整備を実施する予定です。

なお、跡地活用に関しては、東部地区の防災機能を兼ね備えた施設を整備する方針で検討します。

④東第2浄水場

(設置目的)

井戸原水を浄水処理すること。

(現 状)

浄水機能を有した管理棟や前処理棟など8つの施設からなる水供給施設であり、一般市民の出入りには衛生管理上、注意を要します。

建物については、紫外線処理室以外の施設で全体的に老朽化が進んでいますが、安全・安心な水道水の供給に関わる設備については施設全体として概ね良好な状態を保っています。

なお、耐震性が不足している浄水池について、令和3年(2021年)度から令和4年(2022年)度にかけて耐震補強工事を実施する予定です。

(検討の方向性)

「長岡京市上下水道ビジョン(経営戦略)」や「水道施設整備計画」に基づき、今後も適切な維持管理に努め、長寿命化を推進していくこととします。また、令和8年(2026年)度までに、東ポンプ場と統合し、東第2浄水場がその役割を担うこととします。統合に伴い、令和6年(2024年)度から令和7年(2025年)度にかけて施設や設備改修を行う予定です。

⑤北ポンプ場

(設置目的)

浄水場からの受水及び府営水道を受水し、配水池へ送水すること。

(現 状)

府営水道の受水や東第2浄水場からの浄水を配水池へ送水している水供給施設であり、一般市民の出入りには衛生管理上、注意を要します。

建物については、管理棟と分水施設があり、どちらも現在のところ大きな劣化もなく良好な状態を保っています。

(検討の方向性)

「長岡京市上下水道ビジョン（経営戦略）」や「水道施設整備計画」に基づき、今後も適切な維持管理に努め、長寿命化を推進していくこととします。

5. 跡地（未利用地）利活用方針

複合化や移転、廃止等により生じる公共施設跡地や跡施設、未利用地（以下「跡地」という。）の活用方法については、以下の点に留意して検討します。

（1）跡地活用の検討にあたっての基本的な視点

1. 上位計画やまちづくりに係る諸計画との整合

「長岡京市第4次総合計画」「長岡京市公共施設等総合管理計画」といった上位計画や「都市計画マスタープラン」「立地適正化計画」といったまちづくりに係る諸計画に示す方向性に即した活用を検討します。

2. 現在及び将来における行政需要に基づく検討

1. で示した各種計画で掲げる目標を達成するうえで、必要となる施設や用地としての活用を検討します。

また、社会経済情勢や人口構成の変化及び、本市の長期的な政策課題の解決、周辺の公共施設の代替地や複合化等といった再編整備など、将来の需要に対応した活用についても併せて検討します。

3. 地域の特性を踏まえた検討

跡地周辺の地域の特性や課題についても踏まえた上で、地域の活性化や安心・安全な暮らしに資する活用について検討します。

4. 民間活力の活用検討

施設整備や管理運営手法に民間事業者が有するノウハウを生かした活用を検討します。

5. 売却、貸付の検討

市民負担軽減の観点から、財源確保につながる土地の売却や貸付についても積極的に検討します。その際は、市の用地活用による利益が市民に対して大きくなるように十分に検討します。

6. 短期間の暫定活用の検討

上記検討による活用が開始されるまでの暫定期間の活用として、短期間の貸付によるにぎわい創出や財源確保、あるいは、周辺公共施設の仮移転先、仮倉庫といった活用など、土地・建物に係る維持管理経費の負担軽減や有効活用の方策を検討します。市及び地域全体における上位計画での位置づけや、将来における行政需要の対応を視野に入れて検討します。

(2) 跡地活用の区分

1. 市による活用

- ①用途を転用し、行政財産として市が活用します。活用にあたっては、民間活力を生かした施設整備や管理運営手法の導入等も検討します。
- ②将来の行政需要を見越して、公共事業用地や財産として継続的に保有します。活用内容が決定するまでの間、暫定活用についても検討します。

2. 民間による活用

- ①跡地の有効な活用方法として、民間事業者等に委ねることが適切なものや事業機会を創出することを通じて地域経済の活性化に資するもの等については普通財産に変更し、貸付や条件付け売却等による活用を検討します。
- ②本市は阪急長岡天神駅周辺整備が予定されており、整備にあたって必要となる移転先の候補地（代替地）としての活用も検討します。

(3) 検討の進め方、体制

本市では、将来を見据えた公共施設のあり方について全庁的に議論を展開し、公共施設の設置、更新等について、個々具体的な対応を検討するため「長岡京市公共施設検討会議」（以下、「検討会議」という）を設置しています。

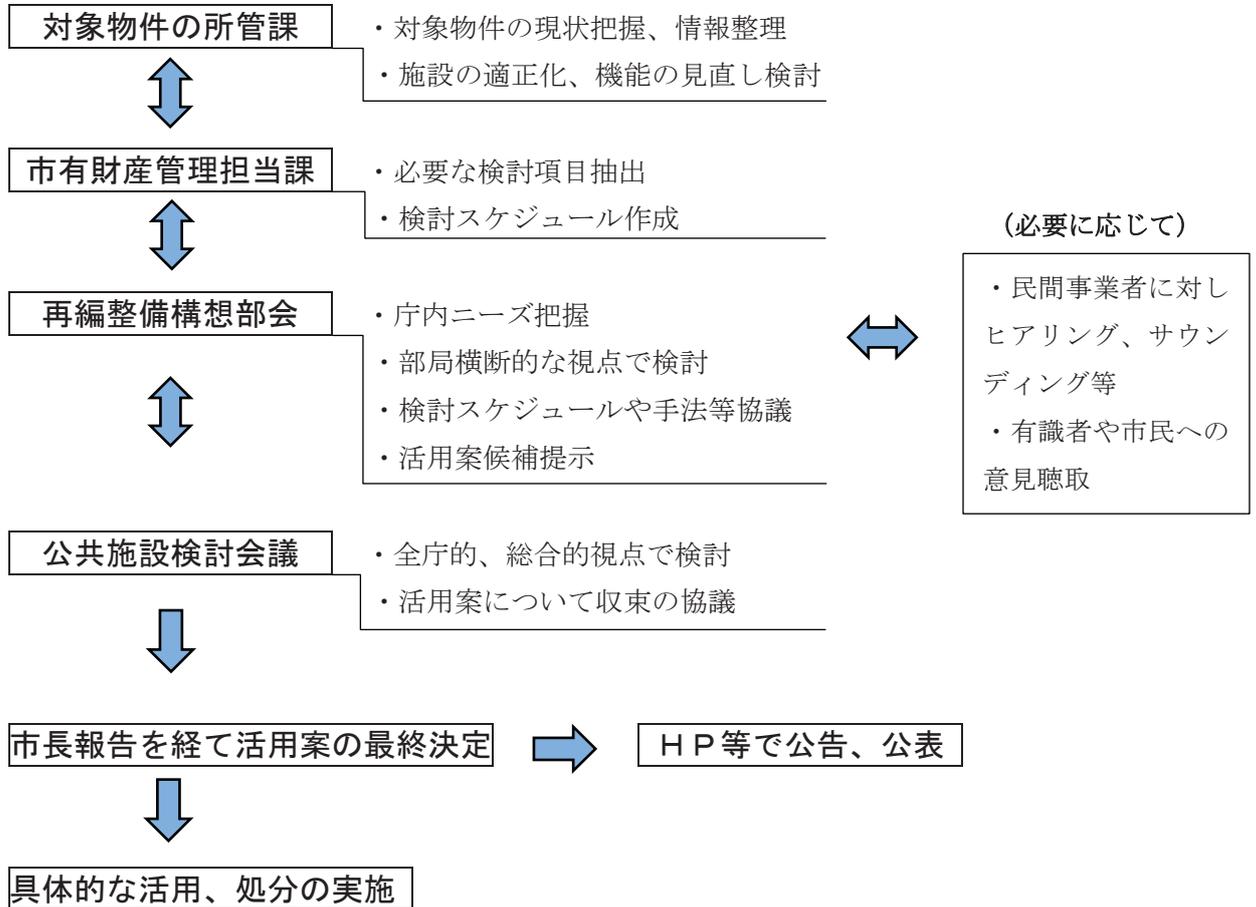
跡地の活用検討においても、対象物件の所管課、市有財産管理担当課（公共資産活用推進室）及び、検討会議の下部組織である「再編整備構想部会」にて検討した内容の報告等を基に、検討会議にて総合的・全庁的な視点で検討・協議を行います。

また、必要に応じてヒアリングやサウンディング型調査等を行い、民間事業者のアイデアを採り入れた検討も行います。

検討会議で確定した活用案は、市長報告を経て決定され、具体的な活用・処分等を実施します。

決定された活用内容は、市ウェブページ等で公告や公表を行います。

跡地活用検討の進め方のイメージ



(前提)
 第4次総合計画、公共施設等総合管理計画、公共施設等再編整備構想都市計画マスタープラン、立地適正化計画等に示す方向性に即した検討

(4) 本市の主な検討対象施設一覧

解体見込時期	施設名 (敷地面積)	概要 (跡地活用に関する現状又は予定など)
解体済	旧新田保育所 (1,623 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年3月末までにぎわい創出の社会実験として暫定活用 ・暫定活用後は長岡天神駅前周辺整備の代替地として活用を予定
解体済	中開田住宅 (1,059 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・R8年12月まで新庁舎工事業者関連の駐車場として活用 ・都市計画道路予定地
R4年	旧老人憩の家 (566 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・跡地は市で保有し、活用内容が決定するまでの間、周辺の路上駐車対策や市営浴場の利便性向上策として駐車場を整備する方針で検討
R6年以降	老人福祉センター 竹寿苑 (2,564 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・共生型福祉施設として移転改築予定 ・跡地活用に関しては未定
R8年以降	東ポンプ場 (8,640 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・市による活用を検討 ・東部地区の防災機能を兼ね備えた施設等を整備する方針で検討
R4年以降	乙訓休日応急診療所 (496 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・乙訓休日応急診療所は済生会病院敷地内に移転予定 ・保健センターは新庁舎の二期庁舎に移転予定 ・跡地活用に関しては未定
R9年以降	保健センター (1,119 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・跡地活用に関しては未定
	産業文化会館 (1,493 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の二期庁舎に移転予定 ・跡地は長岡天神駅前周辺整備の代替地として活用する方針を基本として検討
	旧開田保育所 (3,100 m ²)	【補足1参照】
	済生会京都府病院 (12,854 m ²)	<ul style="list-style-type: none"> ・新施設に移転後、現施設を向日が丘支援学校が仮校舎として暫定活用予定 ・跡地は売却する方針で検討

【補足】

1. 旧開田保育所

- ・新庁舎建設工事期間中、公用車駐車場や工事現場事務所として暫定活用。
- ・「庁舎等再整備基本構想」にて、民間事業者に貸し付け、施設整備や運営を行う定期

借地方式を基本に検討する、としました。

- その後「庁舎等再整備基本計画」にて、用地活用が可能と見込まれる時点で、再度活用方針を見定める、としました。
- 令和6年(2024年)度中の活用案確定を目途に検討を進めます。
- 「定期借地方式」に加え、長岡天神駅周辺整備による代替地としての活用なども含め、活用方針については幅広い視点で検討します。

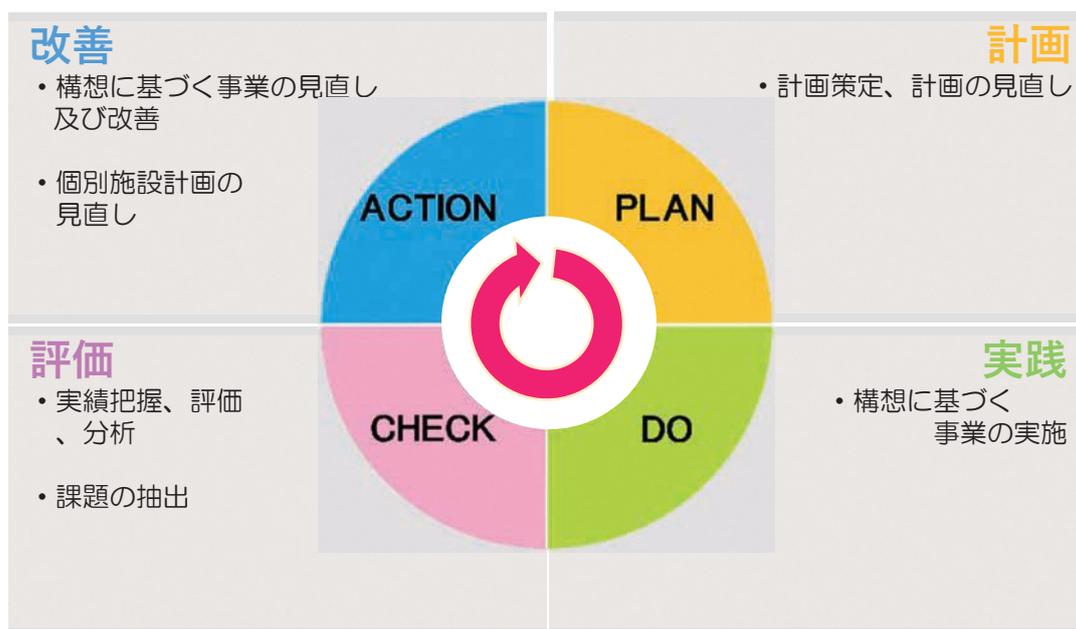
2. その他の検討対象施設

- JR長岡京駅（東口）や阪急長岡天神駅（東地区）など今後整備する予定の対象地についても、地域の活性化やにぎわいの創出に資する活用方法を検討し、整備を進めます。

第5章 今後の検討スケジュール

今後は、この再編整備構想をもとに、事業を実施していき、評価や分析をしながら進行管理を行います。また、そこで抽出された課題も踏まえて、市を取り巻く状況や社会経済情勢の変化も鑑みながら5年程度で、個別施設計画及び再編整備構想の見直しを検討します。

なお、最終的な意思決定や各施設の方向性の調整については、公共施設検討会議や各種下部部会での協議で検討するものとします。



発 行 長岡京市 総合政策部 公共資産活用推進室

〒617-8501

京都府長岡京市開田一丁目1番1号

TEL (075) 955-3161

FAX (075) 951-5410

発行年月 令和4年(2022年)3月

